

# 桜井地区 まちづくり会議提言書

～提言にあたって～

第5次総合振興計画策定及び都市計画マスタープラン改定にあたり、桜井地区では、委員23人で構成する地区まちづくり会議を開催し、令和元年7月から5回にわたり議論を重ねてまいりました。

地区まちづくり会議では、地区の将来に向け、現況や課題を整理し、今後の地区のまちづくりの方向性について意見交換を行い、ここに提言書としてまとめております。

住民にとって、この地区に住んでよかった、また越谷市に住んでよかったと思える、よりよいまちとなるよう、私たちの思いを込めたこの提言書を尊重いただき、今後、計画の策定及び改定を進めていただきますようお願い申し上げます。

令和元年11月18日

桜井地区まちづくり会議

会長 小 倉 繁

令和元年(2019年)11月18日  
桜井地区まちづくり会議

# 1 第5次越谷市総合振興計画における地区の将来像とまちづくりの目標

## (1) 桜井地区の将来像

憩える自然につつまれた、住みよいふれあいのまち桜井

## (2) 現況と課題

### 【現況】

桜井地区は、子どもから高齢者まで世代を超えたコミュニティが形成され、地域における防犯・防災活動などのまちづくり活動にも積極的な地区です。ふれあいサロンの展開や地域における高齢者の生活支援など、世代を超えた支え合いの仕組みも構築されています。

地区内には、古利根川・新方川をはじめとした河川・水路など、身近な水辺が多く存在するとともに、住宅地に点在する屋敷林や平方自然観察林など豊かな緑にも恵まれ、これらは地域の特徴的な資源となっています。

こうした貴重な資源をはじめ、日光街道宿場町としての歴史や下間久里の獅子舞などの伝統文化を後世に受け継いでいくための取組が求められています。

### 【課題】

地域を流れる河川・水路は、近年、水質低下が進み、台風や集中豪雨の際には水害の不安があります。また、地域の生活を支えてきた農業にも衰退が見られ、遊休農地や休耕田の活用など、地区の資源の活用や魅力のPRも課題となっています。

道路については、特に学校周辺の狭隘道路などの問題があり、整備が進む平方公園については、防災機能の充実のほか、少子高齢化に対応した多様な利用や早期完成が求められます。

今後も少子高齢化のさらなる進展が予想される中、新たな公共交通網整備の検討や地域と行政が連携した日常生活支援体制整備など、子どもから高齢者まで障がいのあるなしに関わらず生きがいをもって快適に暮らせる環境づくりが課題となっています。

キーワード	魅力	課題
自然・田園	◇ 河川・水路などの水辺環境 ◇ 屋敷林や平方自然観察林などの豊かな緑	◆ 河川や水路の水質改善・災害対策 ◆ 農業の衰退、耕作放棄地の増加
安全・安心	◇ 地域での防犯・防災活動の実施	◆ 狭隘道路などの道路整備 ◆ 高齢化に対応した公共交通網の検討 ◆ 平方公園の多様な利用と早期完成
コミュニティ	◇ 地域住民のまちづくりへの積極的な参加 ◇ ふれあいサロンの展開	◆ 高齢者等への日常生活支援 ◆ 若者から高齢者まで参加しやすいコミュニティづくり
歴史・文化	◇ 日光街道宿場町としての歴史 ◇ 獅子舞などの伝統文化	◆ 地区の魅力の活用・PR

## (3) まちづくりの目標

目標 1	暮らしの中に生きた緑と水と農を蘇らせ、身近な自然と共存するまちづくり
目標 2	防災力を高め、地域の連携と支え合いによる、安全で安心なまちづくり
目標 3	絆と連携を強め、誰もが生きがいを持って快適に暮らせるまちづくり
目標 4	歴史ある伝統を引き継ぎ、輝きのある文化と美しい景観を創造し、地域の魅力を発信するまちづくり

## 2 取組の体系

### 目標 1 暮らしの中に生きた緑と水と農を蘇らせ、身近な自然と共存するまちづくり

#### 重点的な取組 1-1 水害対策や水質対策などによる河川環境の改善

【方向性】

- ① 古利根川をはじめとした河川・水路の環境改善
- ② 下水道整備の促進

#### 重点的な取組 1-2 良好な環境の維持と向上

【方向性】

- ① 地域資源を有効に活用した環境の向上
- ② 公園の整備

#### 重点的な取組 1-3 環境改善のための対策促進

【方向性】

- ① ごみ問題等に対する環境改善

#### 重点的な取組 1-4 農業の活性化

【方向性】

- ① 農地の保全と農業経営の改善

### 目標 2 防災力を高め、地域の連携と支え合いによる、安全で安心なまちづくり

#### 重点的な取組 2-1 安全性を重視した道路、交通環境の整備

【方向性】

- ① 道路整備の推進
- ② 橋の整備及び道路環境整備
- ③ 公共交通網の整備
- ④ 大袋駅周辺のまちづくり

#### 重点的な取組 2-2 地域をあげた防災・防犯による安心・安全なまちづくり

【方向性】

- ① 防災対策の強化
- ② 防犯対策の強化

目標3 絆と連携を強め、誰もが生きがいを持って快適に暮らせるまちづくり

重点的な取組3-1 子どもから高齢者まで障がいのあるなしに関わらず生きがいをもちて快適に暮らせる環境づくり

【方向性】

- ① 医療介護体制の改善
- ② 高齢者等への生活支援
- ③ 少子高齢者対策住宅の整備
- ④ スポーツ施設の整備
- ⑤ 子育て支援の充実
- ⑥ 教育環境の整備と教育内容の充実
- ⑦ 社会教育の充実

重点的な取組3-2 コミュニティの活性化

【方向性】

- ① 自治会及び子どものコミュニティの活性化
- ② マナーの向上

重点的な取組3-2 市民参加のまちづくり

【方向性】

- ① 計画づくりへの取り組み方の再検討

目標4 歴史ある伝統を引き継ぎ、輝きのある文化と美しい景観を創造し、地域の魅力を発信するまちづくり

重点的な取組4-1 地域の伝統文化の継承と創造

【方向性】

- ① 個性ある地域文化の創造
- ② 美しいまちづくりの推進

重点的な取組4-2 地域の魅力創出と発信

【方向性】

- ① 桜井地区の特色ある魅力の創出
- ② 桜井地区の魅力のPR

3 取組内容

【目標① 暮らしの中に生きた緑と水と農を蘇らせ、身近な自然と共存するまちづくり】

地区まちづくり会議より出された提言				目標実現に向けた市民・行政の役割			
目標	重点的な取組	方向性	番 提 号 言	出された提言課題	市への期待	地域でできること	
目標① 暮らしの中に生きた 緑と水と農を蘇らせ、 身近な自然と共存す るまちづくり	◆水害対策や 水質対策など による河川環 境の改善	古利根川をは じめとした河 川・水路の環 境改善	1	●古利根川の多自然型護岸整備	古利根川の多自然型護岸 整備を県に要望		
			2	●釣り人に安全な護岸整備や釣り場所の設置	釣り人に安全な古利根 川・新方川の護岸整備 釣り場所の設置		
			3	●古利根川のゴミの除去	活動への支援	クリーンアップ活動など の清掃	
			4	●農業用水路と生活排水路の分離	農業用水路と生活排水路 の分離整備		
			5	●水害対策のための会の川、平新川、新方川 の整備	水害対策河川整備（会の 川、平新川、新方川）		
			6	●平新川への流入土砂の撤去	流入土砂の撤去		
			7	●排水路・側溝の改修	排水路・側溝の適切な維 持管理・整備	ゴミ捨て防止啓発運動 泥上げ・清掃協力	
			8	●排水溝の土砂除去など清掃への対応	排水溝の清掃		
			9	●旧農業用水路の悪臭、ゴミ等の環境改善	排水路の適切な維持管理 用水路に蓋をすする 頻繁な清掃作業	やむを得ない作業の実施 花を植えて美化活動	
			10	●古利根川から逦水する環境水路の整備	環境水路の整備		
			11	●河川の水質改善	水質改善		
			12	●悪臭、ボウフラ対策に水路の常時通水	古利根川からの常時通水	水利権の調整	
			13	●葎が生える調整池の管理強化	調整池の適切な管理		
			14	●農業用水路管理の不公平さの解消	用水路の維持管理の公平 性の確保	維持管理への協力	
	下水道整備の 促進			15	●市街化調整区域人口集中地区（DID）の下水 道整備	市街化調整区域DIDへの 公共下水道整備	
				16	●公共下水道未接続の解消	公共下水道未接続の解消	
				17	●合併浄化槽の設置促進	設置促進支援	合併浄化槽設置意義の理 解
	◆良好な環境 の維持と向上	地域資源を有 効に活用した 環境の向上		18	●屋敷林保全	屋敷林保全への公的支 援・徳万葉利用できる循 環社会の推進	屋敷林保全への理解
				19	●樹木の保全・点検	学校・公園・道路等の樹 木の保全と点検（倒木防 止）	樹木保全への理解
				20	●ふれあいサンクチュアリである平方自然観察 林の保全・拡大	平方自然観察林の保全・ 拡大	利用・維持管理への協力
				21	●古利根川沿い屋敷林をつなげた桜井の森の 設置	桜井の森整備	樹木育成
				22	●古利根川・新方川沿いの遊歩道の設置	遊歩道の整備	維持管理への協力

地区まちづくり会議より出された提言				目標実現に向けた市民・行政の役割					
目標	重点的な取組	方向性	審 提 号 言	出された提言課題	市への期待	地域でできること			
目標① 暮らしの中に生きた 緑と水と農を暮らし、 身近な自然と共存す るまちづくり	◆良好な環境 の維持と向上	地域資源を有 効に活用した 環境の向上	23	●新方川の堤防の除草と緑道整備	除草回数の増加を要請 緑道整備	維持管理への協力			
			24	●川沿いを憩いの場に	河川の親水空間整備				
			25	●散策、ジョギングできる緑道整備	緑道整備				
		公園の整備	26	●平方公園の広域利用の見直し	地域に役立つ平方公園整 備				
			27	●利用者の観点から見た平方公園整備の見直 しと早期完成	多目的グラウンド利用の 観点から平方公園整備推 進 これからの高齢化社会等 を踏まえたレイアウトの 見直し				
			28	●平方公園周辺に集会所の建設を	集会所整備				
			29	●平方公園の総合的な防災機能の向上	遊水機能の増強 太陽光発電の設置	建設後の利用を見える化			
			30	●市街地への公園設置	地区中央、南部への公園 整備	日常管理協力			
			◆環境改善の ための対策促 進	ごみ問題等 に対する環境改 善	31	●廃棄物置き場への条例等による規制	条例等による規制		
					32	●通学路周辺など危険な産業廃棄物対策	適正な管理方法の指導	地域内での注意喚起	
	33	●路上にあるごみ集積所の環境整備			ごみ集積所の改善整備				
	34	●ゴミ出しのマナーの改善			ゴミ出しルールの周知	ゴミ出しルールの徹底			
	35	●粗大ゴミ用集積所の設置			粗大ゴミ用集積所の設置	設置場所の協力			
	36	●開発地の緑化の徹底			開発地の緑化の指導				
	◆農業の活性 化	農地の保全と 農業経営の改 善	37	●農地保全・美田復活	農業公社・生産法人支援 など農地保全促進	地産地消の推進			
			38	●農産物直売所の設置	農産物直売所の整備	購買促進			
			39	●農業用水の水質改善	排水設備整備等による水 質改善	水路整備への理解 生活排水の流入防止			
			40	●農地内の不法投棄対策	不法箇所を取締り、撤去				
			41	●市民農園の拡大	高齢社会に対応した規 模・内容・数の拡大				
			42	●花植えなど休耕田の活用(地区の魅力発信に もつなげる)	休耕田への花植え	立派の種集め、手入れ、 販売			

## 【目標② 防災力を高め、地域の連携と支え合いによる、安全で安心なまちづくり】

地区まちづくり会議より出された提言				目標実現に向けた市民・行政の役割			
目標	重点的な取組	方向性	番 提 号 言	出された提言課題	市への期待	地域でできること	
目標② 防災力を高め、地域 の連携と支え合い で、安全で安心なま ちづくり	◆安全性を重 視した道路、 交通環境の整 備	道路整備の推 進	43	●危険な狭い道路の解消	道路拡幅 警察への信号機・ミラー 設置要望		
			44	●道路整備(念仏橋～桜井小学校～国道4号バ イパス)(平方中学校・平方小学校・桜井小学校 の通学路)(大泊地区)(北高北側)	狭い道路の解消・信号 機ミラー設置 計画的な工事実施		
			45	●歩道のある道路整備	歩道設置		
			46	●道路拡幅、歩道設置	道路拡幅		
			47	●街路樹と街路灯の整備・管理	街路樹と街路灯の適切な 整備と管理	樹木・灯りの点検	
			48	●水たまりのできない道路整備	道路補修の充実	速やかな通報	
			49	●時間帯、場所など大型車の通行規制	通行規制の実施	監視・交通整理	
			50	●歩行者が優先される道路(コミュニティ道路) の整備	歩行者優先道路の整備		
			51	●せんげん台駅前の渋滞解消(横断歩道の廃 止)	警察への働き掛け		
			52	●道路標示の維持管理	しっかりとした点検 警察との連携(標示位置 や設置場所の見直し、標 識の取替え等)	危険箇所の発見・通報	
		橋の整備及び 道路環境整備	53	●平方大橋の建設是否を含めた建設内容の見 直し	計画の見直し	見直しへの理解	
			54	●平方大橋周辺道路環境整備	平方大橋整備に合わせた 計画的な道路整備		
			公共交通網の 整備	55	●地区内の公共交通網の整備		
				56	●地区と病院や駅などをつなぐ多様な公共交 通手段の検討	公共交通網の整備検討 民間事業者との交渉 実現に向けての活動・周 知活動	バスの積極的利用 整備希望箇所を抽出 利用時間帯や頻度等につ いての情報提供協力
		57		●バス不便地区への対応(平方方面)(各駅～ 病院)(北高方面)			
		大袋駅周辺の まちづくり	58	●国道4号から大袋駅へのアクセス道路の検討	アクセス道路の検討	大袋駅東口周辺地区まち づくり協議会による検討	
			59	●東武鉄道伊勢崎線の高架化による東西交通 の円滑化	東武鉄道との連携	著名活動・機運の醸成	
		◆地域をあげ た防災・防犯 による安心・ 安全なまちづく り	防災対策の強 化	60	●防災拠点の整備	防災拠点の整備	
				61	●自然堤防上の防災拠点整備	自然堤防上の防災拠点の 整備	
				62	●防災倉庫を設置するなどの神社等の利用	防災施設の整備	
				63	●防災倉庫の備品の充実と管理	備品の管理に関する指 導・助言 備品の充実(災害時に防 災情報の発信のための防 災ラジオなど)	管理の協力
				64	●排水設備の整備	排水設備の改修・修繕	



地区まちづくり会議より出された提言				目標実現に向けた市民・行政の役割		
目標	重点的な取組	方向性	番 号 提 言	出された提言課題	市への期待	地域でできること
目標② 防災力を高め、地域の連携と支え合いで、安全で安心なまちづくり	◆地域をあげた防災・防犯による安心・安全なまちづくり	防災対策の強化	65	●低地盤地区への排水ポンプ設置	低地盤地区への排水ポンプ増設	
			66	●せんげん台駅前の排水強化	排水強化のための整備	
			67	●ゲリラ豪雨・内水害対策	遊水池、一時貯留地等の整備 内水排除施設の整備	
			68	●調節池の整備	平方調節池の整備	
			69	●水田、遊水池などによる水害対策	水田の保全 平方調節池の設置	水田保全の理解
			70	●計画的な市街地開発による防災(平方地区)	計画的な市街地開発による防災	
			71	●防災無線の利用	防災無線の効果的活用	
			72	●防災組織の機能強化	防災組織の機能強化	防災訓練などへの参加
			73	●地震発生時の緊急対策マニュアルの作成	マニュアル作成	防災マップの作成
			74	●閉鎖的な資材置き場等の規制	高い壁など隠れい住所の解消指導	
	防犯対策の強化	75	●ひったくりやオレオレ詐欺に対する対応	取締り強化	防犯知識の向上	
		76	●治安悪化の防止のための地域のコミュニティの活性化	危機管理課からの指導・助言 地域内における防災対策の強化	防犯対策の推進	
		77	●広範囲の自警団の結成と連携支援	広範囲の自警団の結成と連携支援	自警団等への参加	
		78	●見守り隊の制度化	見守り隊の制度化	見守り隊への参加	
		79	●防犯団体の組織的活動強化	防犯団体の組織的活動支援	防犯団体や防犯協議会等への参加	
		80	●防犯協議会などの連絡体制整備	防犯協議会などの連絡体制整備		
		81	●空家への対応(撤去・活用)	関係機関等との連携強化	空き家の発見・通報	
		82	●警察のパトロール強化	警察への働き掛け		
		83	●せんげん台駅周辺への防犯カメラ設置	防犯カメラ設置	設置場所の協力	
		84	●街灯が不足しているところへの整備	防犯の観点による街灯整備		

## 【目標③ 絆と連携を強め、誰もが生きがいを持って快適に暮らせるまちづくり】

地区まちづくり会議より出された提言				目標実現に向けた市民・行政の役割		
目標	重点的な取組	方向性	番 号 提 言	出された提言課題	市への期待	地域でできること
目標③ 絆と連携を強め、誰もが生きがいを持って快適に暮らせるまちづくり	◆子どもから高齢者まで障がいのあるなしに関わらず生きがいをもって快適に暮らせる環境づくり	医療介護体制の改善	85	●休日、夜間などの緊急医療体制の充実	休日、夜間などの緊急医療体制の充実	
			86	●市立病院の経営の健全化	市立病院の経営の健全化	
			87	●長時間待たない市立病院の対応改善	待ち時間の改善	
			88	●老々介護への支援体制の整備	老々介護への支援体制の整備	
			89	●介護支援利用のPR	介護支援利用のPR	地域内での周知
			90	●一人暮らしの高齢者の退院後の支援施設	一人暮らしの高齢者の退院後の支援施設の整備	
			91	●看取りの体制づくり	看取りの体制づくりと地域の役割の明確化	
			92	●独居高齢者の相談所の開設	独居高齢者の相談所の開設と支援システムの構築	
			93	●独居高齢者の安全確保	独居高齢者に対する見守り訪問の制度化	地域における見守り活動
			94	●地域包括支援センターの機能強化	地域包括支援センターのPR・機能強化	
		高齢者等への生活支援	95	●高齢者の交流の場づくり(ふれあいサロンの拡充、交流館の活用、引きこもりや単身世帯の人が社会や地域活動に参加できる場や機会づくり、地区で活動しやすいような企画立案)	各施策の検討・実施	さわやか広場、ふれあいサロンの拡充
			96	●緊急連絡網の整備・高齢者数の把握	緊急連絡網の整備 地区への情報提供	緊急連絡網整備の協力
			97	●高齢者、障がい者等への日常生活への支援	高齢者等のゴミ出し、ゴミカゴ出し支援の検討	高齢者等による清掃力コ出し入れ対応など地域でのゴミ出し支援
			98	●高齢者が通える商店街の育成	商店街の活性化支援	商店街での購買促進
		99	●少子高齢者対策住宅の整備	住宅改造への補助		
		100	●スポーツ施設の整備	屋内運動施設の整備		
		子育て支援の充実	101	●ゼロ歳児保育所の設置	ゼロ歳児保育所の設置	
102	●保育所の増設		保育所の増設			
103	●保育所の建替え・耐震化		桜井保育所の建替え・耐震化の検討・整備			
104	●学童保育の全校化		全校での検討・実施			
105	●おばあちゃんの孫育ての協力場		機会提供			
106	●地域で子どもを育て、見守る場づくり		多世代が参加できる取組の促進 ボランティアなど支援の仕組みづくり 地域の各種事業の周知	運営や集会所等の協力		
107	●ファミリーサポート事業の普及		普及活動の実施			

地区まちづくり会議より出された提言				目標実現に向けた市民・行政の役割				
目標	重点的な取組	方向性	審 提 号 言	出された提言課題	市への期待	地域でできること		
目標③ 絆と連携を強め、誰もが生きがいを持って快適に暮らせるまちづくり	◆子どもから高齢者まで障がいのあるなしに関わらず生きがいをもちて快適に暮らせる環境づくり	教育環境の整備と教育内容の充実	108	●子どもたち世代の福祉教育の推進	教育機会の提供	子ども福祉教室の開催		
			109	●マナー教育の徹底		マナー教室の開催		
			110	●防犯教育の実施		防犯教室の開催		
			111	●安全教育の実施		安全教室の開催		
			112	●小中学校体育館への冷房設備設置	計画的な事業実施	実態調査、報告		
			113	●学校応援団づくりと事務所設置	空き教室の開放	学校応援団への参加		
			114	●学校と地域との連携強化	学校地域協議会の設置	学校地域協議会への参加		
			115	●特色ある学校づくりの推進				
			116	●学校設備の格差解消			学校設備の整備	
			社会教育の充実	117	●社会教育のための学校開放	学校施設の開放		
				118	●子どもたちの自然体験・環境教育の推進と場の確保	体験機会の拡充と支援	ふるさと体験教室	
				119	●教育ファーム整備	農業体験機会の充実	農作物づくり体験教室	
				120	●児童館コスモスの利用時間延長	児童館の利用時間の見直し(夏休み・冬休みの設定)		
				121	●児童館コスモスの利用の活性化	児童館の活用の実施		
			◆コミュニティの活性化	自治会及び子どもコミュニティの活性化	122	●自治会への参加促進	転入者への自治会加入PRの強化	転入者への自治会加入のすすめ
					123	●子ども達のコミュニティの活性化	子ども会参加促進の支援	子育ての推進
	124	●子育て世代や高齢者のつながりによるコミュニティづくり			交流機会の創出(助け合える仕組みづくり(ボランティアなど))			
	125	●イベント開催等による若者の公民館の利用促進			公民館カフェ等の若者が参加できるイベント開催	子ども食堂の開設		
	126	●地区センター・公民館の柔軟な利用方法の検討			当日の申請でも使用できるなど、地域のニーズに合わせた柔軟な利用方法の検討			
	127	●交流館の整備・充実			整備の検討・実施			
	マナーの向上	128		●イヌの散歩のマナー改善	マナー改善指導	飼い主のマナー向上		
129	●風俗・サラ金等のビラの規制	規制の取組	ビラの点検					
◆市民参加のまちづくり	計画づくりへの取り組み方の再検討	130	●第5次総合振興計画の提言内容の正しい理解と取組実績の説明	実情を反映した内容とし、提言課題の内容を明確にする 提言課題の内容の正しい把握と担当課への伝達				
		131	●公募等による地区まちづくり会議への参加形式	参加手法の検討	まちづくり会議への公募委員の参加			
		132	●進捗状況の情報共有	定期的な進捗報告と、財政システム等情報公開の 透明性確保	まちづくり会議への協力			

## 【目標④ 歴史ある伝統を引き継ぎ、輝きのある文化と美しい景観を創造し、地域の魅力を発信するまちづくり】

地区まちづくり会議より出された提言				目標実現に向けた市民・行政の役割				
目標	重点的な取組	方向性	審 提 号 言	出された提言課題	市への期待	地域でできること		
目標④ 歴史ある伝統を引き継ぎ、輝きのある文化と美しい景観を創造し、地域の魅力を発信するまちづくり	◆地域の伝統文化の継承と創造	個性ある地域文化の創造	133	●郷土が誇れる歴史文化の継承(獅子舞など)	地域文化の継承	地域文化体験教室		
			134	●鴨場や能楽堂だけでなく、個性のある地域の文化を育てる必要がある	地域文化の育成支援	地域文化の育成		
			135	●地域にはまだまだ文化的資源が埋もれている(江戸時代中期の虚空蔵菩薩を発見)	地域文化の発掘	情報発信		
			136	●地域の独自の風土が生んだ白いタンポポ	貴重な植物の維持・保全	地域における保全活動		
			137	●歴史文化に裏付けられ、地域風土にマッチした住まい方(屋敷林)	景観の維持・保全			
			138	●屋敷林のある原風景は、風を防ぐだけでなく、美を備えている				
			139	●清潔なまち、犯罪のないまち、に加えて、美しいまちをつくりたい				
			◆地域の魅力創出と発信	桜井地区の魅力のPR	140	●桜井地区の原風景(越谷八景など)の再現	平方公園等における原風景の再現	
					141	●屋敷林のマップ作成、屋敷林歩きツアーの実施	マップづくりの支援	資源探し
					142	●古利根川などの既存資源を活用した魅力のPR	遡向の検討 古利根川沿いに「桜井の森」整備	切符づくりなど活動支援
	143	●日光街道の江戸時代における宿場の紹介			PR活動 資料館の検討・整備			



# 新 方 地 区 ま ち づ くり 会 議 提 言 書

令和元年(2019年)11月18日  
新方地区まちづくり会議

～提言にあたって～

第5次総合振興計画策定及び都市計画マスタープラン改定にあたり、新方地区では、委員23人で構成する地区まちづくり会議を開催し、令和元年7月から4回にわたり議論を重ねてまいりました。

地区まちづくり会議では、地区の将来に向け、現況や課題を整理し、今後の地区のまちづくりの方向性について意見交換を行い、ここに提言書としてまとめております。

住民にとって、この地区に住んでよかった、また越谷市に住んでよかったと思える、よりよいまちとなるよう、私たちの思いを込めたこの提言書を尊重いただき、今後、計画の策定及び改定を進めていただきますようお願い申し上げます。

令和元年11月18日

新方地区まちづくり会議

会長 三 田 礪 三

# 1 第5次越谷市総合振興計画における地区の将来像とまちづくりの目標

## (1) 新方地区の将来像

自然を生かし、安心して住めるふれあいのまち新方

## (2) 現況と課題

### 【現況】

新方地区は、大落古利根川や新方川、大吉調節池などの水辺に恵まれており、ホテルなどの昆虫が生息する環境が整っています。また、広大な田園風景や屋敷林などの豊かな自然環境は地区の大きな魅力のひとつであり、大吉調節池や野鳥の森といった憩いの場ではジョギングやウォーキングなどの健康づくりで利用する住民も多く見られます。

地区においては、県内で唯一現存し、市内を代表する民俗行事ともいえる「埼玉県指定無形民俗文化財 北川崎の虫追い」や新方フェスタといった伝統行事・イベントが活発に行われるとともに、地域コミュニティによる防犯パトロールなどの見守り活動やクリーン作戦などの環境美化活動にも積極的に取り組んでいます。

### 【課題】

一方で、新方川からの浸水被害などに対する災害対策が求められており、特に、市街化区域側の避難場所・避難路の確保は喫緊の課題となっています。また、地区内には道路幅員が狭い生活道路も多く、特に子どもや高齢者の安全性を確保する必要があります。

地区においては、大半が市街化調整区域であり、高齢化も進展していることから、駅や主要な施設等への移動手段の確保に向けた取り組みを進めていく必要があります。

また、地域コミュニティにおいても、子どもや若者の参加促進とともに、多世代が交流できる地域活動の工夫が必要です。

キーワード	魅力	課題
安全・安心	◇ 防犯パトロール活動の充実	◆ 市街地の避難場所・避難路の確保 ◆ 通学路における車両の往来
コミュニティ・環境	◇ 活発なコミュニティ活動 ◇ 定期的なクリーン作戦の実施	◆ 地域活動におけるメンバーの高齢化
公共交通・道路環境	◇ 大吉調節池の整備された歩道 ◇ 北越谷駅及びせんげん台駅方面に向かう利便性の高いバス路線	◆ 高齢化に対応できる公共交通の維持・確保 ◆ 道路幅員が狭いことによる歩行の危険性
自然・田園	◇ 豊かな田園環境・屋敷林 ◇ 生態系豊かな環境 ◇ 大吉調節池などの水辺環境	◆ 公園や河川、農地の管理

## (3) まちづくりの目標

目標 1	防災・防犯対策に重点を置いた地域づくり
目標 2	地区の伝統行事やイベントを通じた多世代の交流づくり
目標 3	地域の交通利便性の向上と健康のため、快適に歩くことのできる道路環境づくり
目標 4	豊かな自然・田園・水辺環境を生かした魅力ある憩いの場づくり

## 2 取組の体系

### 目標 1 防災・防犯対策に重点を置いた地域づくり

#### 重点的な取組 1-1 災害に対応した事前対策と避難場所の確保

【方向性】

- ① 災害時（水害・風害・地震等）の体制づくり
- ② 避難場所・方法の再検討

#### 重点的な取組 1-2 犯罪を未然に防ぐ体制・環境づくり

【方向性】

- ① 防犯対策の充実

### 目標 2 地区の伝統行事やイベントを通じた多世代の交流づくり

#### 重点的な取組 2-1 多世代の参加によるコミュニティ活動の活性化

【方向性】

- ① 誰もが参加しやすい地域活動の推進
- ② 伝統行事の継承

#### 重点的な取組 2-2 生活マナーの改善と美しいまちづくりの推進

【方向性】

- ① 不法投棄・ごみ問題対策の推進

**目標3 地域の交通利便性の向上と健康のため、快適に歩くことのできる道路環境づくり**

**重点的な取組3-1 公共交通網の整備**

【方向性】

- ① 生活利便性の向上を目指した公共交通の充実

**重点的な取組3-2 歩行者が健康のため、安心して歩くことのできる道づくり**

【方向性】

- ① 健康のため、気軽に歩くことのできる地域づくり
- ② 歩行者が快適で安心して歩くことのできる道づくり

**重点的な取組3-3 交通マナーの向上**

【方向性】

- ① 交通マナーの強化

**目標4 豊かな自然・田園・水辺環境を生かした魅力ある憩いの場づくり**

**重点的な取組4-1 誰もが快適に利用でき、憩うことのできる多目的な公園・緑地づくり**

【方向性】

- ① 大吉調節池の環境整備
- ② 活動制限のない公園の整備

**重点的な取組4-2 動植物の生息環境の保全**

【方向性】

- ① ホタルなどの昆虫や動植物の保全、豊かな生態系の維持

**重点的な取組4-3 川を生かした魅力づくり**

【方向性】

- ① 大落古利根川・新方川の遊歩道等の整備
- ② 新方川の緑化推進

**重点的な取組4-4 農地の保全と有効活用**

【方向性】

- ① 農地の保全と有効活用

**3 取組内容**

**目標1 防災・防犯対策に重点を置いた地域づくり**

**重点的な取組1-1 災害に対応した事前対策と避難場所の確保**

水害や台風被害などの自然災害に備えた施設整備を行うとともに、予め地域で災害時の避難方法や対応策を検討し、災害対策の充実を図ります。

方向性	具体的な内容
① 災害時（水害・風害・地震等）の体制づくり	«地域でできること» ● 自治会による災害対策の継続的な実施 ● 情報交換の仕組みづくりの検討 ● 地球温暖化に対する意識改革 «市への期待» ○ 河川増強の国・県への要請 ○ さらなるポンプアップ能力の増強 ○ 常設ポンプの増設 ○ 災害時に対応した発電機の確保 ○ 倒木の恐れのある大木の伐採
② 避難場所・方法の再検討	«地域でできること» ● 災害時の避難先の確認 «市への期待» ○ 災害時の車置き場の確保 ○ 公園整備と合わせた避難場所の確保 ○ 弥栄地区における避難場所となる施設の確保 ○ 新方川堤防から避難場所への直接避難が可能な通路の確保

**重点的な取組1-2 犯罪を未然に防ぐ体制・環境づくり**

地区内をきれいに保つとともに、パトロールや情報提供・共有等により地区内に目配りをする事で防犯対策の充実を図ります。

方向性	具体的な内容
① 防犯対策の充実	«地域でできること» ● 登下校時の見守りパトロールの充実 ● 声掛け・あいさつ運動の促進 ● 防犯意識の醸成 ● 情報提供・共有の仕組みづくりの検討 «市への期待» ○ 新方川沿いへの街灯の設置と転落防止対策の実施 ○ 防犯カメラの設置

## 目標 2 地区の伝統行事やイベントを通じた多世代の交流づくり

### 重点的な取組 2-1 多世代の参加によるコミュニティ活動の活性化

子どもから高齢者まで、誰もが参加しやすい工夫をこらし、既存のイベントや伝統行事を盛り上げることにより、コミュニティ活動のさらなる活性化を図ります。

方向性	具体的な内容
① 誰もが参加しやすい地域活動の推進	«地域でできること» ● 親子で参加しやすい行事の企画 ● 多世代交流事業の検討 ● SNSでの情報発信 ● 自治会・子ども会・学校間の連携強化 «市への期待» ○ 新方地区フェスタへの支援
② 伝統行事の継承	«地域でできること» ● 虫追い行事への支援 «市への期待» ○ 虫追い行事への支援

### 重点的な取組 2-2 生活マナーの改善と美しいまちづくりの推進

不法投棄の防止やごみの分別の徹底、犬の飼い主のマナー向上など、環境の美化に努めます。

方向性	具体的な内容
① 不法投棄・ごみ問題対策の推進	«地域でできること» ● 不法投棄パトロールの実施 ● 啓発看板の設置 «市への期待» ○ 犬のフン対策の実施（イエローチョーク作戦） ○ 家電の不法投棄対策の実施

## 目標 3 地域の交通利便の向上と健康のため、快適に歩くことのできる道路環境づくり

### 重点的な取組 3-1 公共交通網の整備

自家用車を利用しない人の交通手段として、誰もが利用しやすい公共交通の充実を目指します。

方向性	具体的な内容
① 生活利便性の向上を目指した公共交通の充実	«地域でできること» ● 地域主体の協議会における公共交通の検討 ● 地域での助け合いによる送迎支援の検討 «市への期待» ○ バス等が通行しやすい環境づくり ○ 未来技術を駆使した公共交通の検討

### 重点的な取組 3-2 歩行者が健康のため、安心して歩くことのできる道づくり

健康ウォーキングの推進や道路の危険箇所等の早期発見・修繕により、健康で安心して歩くことのできる歩行空間を作ります。また、分かりやすい標識等の設置に努めます。

方向性	具体的な内容
① 健康のため、気軽に歩くことのできる地域づくり	«地域でできること» ● 健康ウォーキングの推進と地域リーダーの育成 ● 「埼玉県コバトン健康マイレージ」への参加 «市への期待» ○ 大落古利根川・新方川沿いへの遊歩道の整備 ○ 健康増進施策の情報発信
② 歩行者が快適で安心して歩くことのできる道づくり	«地域でできること» ● 危険箇所等の早期発見・通報 ● 街路樹の剪定場所の取りまとめ «市への期待» ○ 県道・市道の拡幅の検討・整備 ○ 危険箇所等の修繕の実施 ○ スピード制限や通行制限の検討 ○ 街路樹の剪定

### 重点的な取組 3-3 交通マナーの向上

交通マナー向上策の強化により安心できる生活環境を作ります。

方向性	具体的な内容
① 交通マナーの強化	«地域でできること» ● 交通ルールやマナーの遵守 «市への期待» ○ 交通マナー講習会など交通ルール指導の徹底

目標 4 豊かな自然・田園・水辺環境を生かした魅力ある憩いの場づくり

重点的な取組 4-1 誰もが快適に利用でき、憩うことのできる多目的な公園・緑地づくり

多目的な利用ができる環境を整備し、より多くの住民が憩うことのできる場所を作ります。

方向性	具体的な内容
① 大吉調節池の環境整備	«地域でできること» ● 大吉調節池周辺の草刈りなどの活動 «市への期待» ○ 時計の設置 ○ 大吉調節池への花壇の設置
② 活動制限のない公園の整備	«地域でできること» ● 新たな学校開放のあり方の検討 «市への期待» ○ 子どもがボールで遊ぶことのできる公園の整備

重点的な取組 4-2 動植物の生息環境の保全

貴重な動植物が生息できるような豊かな自然環境の保全に努めます。

方向性	具体的な内容
① ホタルなどの昆虫や動植物の保全、豊かな生態系の維持	«地域でできること» ● ホタルの育成活動への参加 «市への期待» ○ 自然環境保護の方策の検討

重点的な取組 4-3 川を生かした魅力づくり

地域参加型の緑化運動の推進や遊歩道等の整備を行うことで大落古利根川や新方川を活かした新方地区の魅力を作ります。

方向性	具体的な内容
① 大落古利根川・新方川の遊歩道等の整備	«地域でできること» ● 大落古利根川沿いの草刈り等の実施 «市への期待» ○ 遊歩道等の整備に向けた検討
② 新方川の緑化推進	«地域でできること» ● 参加型の緑化運動への取り組み «市への期待» ○ 県への定期的な草刈り等の実施要請

重点的な取組 4-4 農地の保全

コミュニティ農園の維持・充実や田園風景の継承を図るため、農地の適正な維持・管理を図ります。

方向性	具体的な内容
① 農地の保全	«地域でできること» ● コミュニティ農園の適正な維持・管理 ● 蕎麦の会の育成・蕎麦打ち体験の実施 «市への期待» ○ コミュニティ農園活動への支援 ○ 田園風景等の景観維持への支援





# 増林地区 まちづくり会議提言書

～提言にあたって～

第5次総合振興計画策定及び都市計画マスタープラン改定にあたり、増林地区では、委員24人で構成する地区まちづくり会議を開催し、令和元年7月から4回にわたり議論を重ねてまいりました。

地区まちづくり会議では、地区の将来に向け、現況や課題を整理し、今後の地区のまちづくりの方向性について意見交換を行い、ここに提言書としてまとめております。

住民にとって、この地区に住んでよかった、また越谷市に住んでよかったと思える、よりよいまちとなるよう、私たちの思いを込めたこの提言書を尊重いただき、今後、計画の策定及び改定を進めていただきますようお願い申し上げます。

令和元年11月18日

増林地区まちづくり会議

会長 石崎 一 宏

令和元年(2019年)11月18日  
増林地区まちづくり会議

# 1 第5次越谷市総合振興計画における地区の将来像とまちづくりの目標

## (1) 増林地区の将来像

人と自然の共生、快適な街 ましばやし

## (2) 現況と課題

### 【現況】

増林地区では、「ときめきチャレンジましばやし」や「かかしまつり」等のコミュニティ活動が活発に行われ、地域の結束力が高まっています。

地区内を流れる元荒川や新方川などの河川では、桜並木や緑道が整備され、美しい水辺空間を形成しています。また、屋敷林や農地が多く残っており、田圃地帯の一角では、毎年田んぼアートが行われており、稲穂が実る秋には集まる人々の目を楽しませています。

地区内には、公園や医療・保健施設、文化・体育施設など、多くの公共施設があり、住みやすい街並みが形成されているため、定住志向が高い傾向にあります。

### 【課題】

コミュニティ活動が盛んである一方、自治会の加入率や若い世代の交流が低下傾向にあるため、様々な世代が交流できるコミュニティの推進や、地域の活動に参加しやすい環境づくりが求められています。

農業従事者の高齢化や後継者不足の影響により、農地の保全が大きな課題となっているため、農地等を活用する仕組みづくりを検討する必要があります。

地区内の公共施設の更なる利便性の向上のため、施設周辺の駐車場や道路の整備、公共交通の充実が求められています。

安心・安全で快適な住環境を守るため、防災・防犯対策や歩道整備、交通渋滞対策などの道路環境の整備が課題となっています。

キーワード	魅 力	課 題
コミュニティ	◇ 活発なコミュニティ活動	◆ 自治会加入率の低下 ◆ 世代間の交流
自然景観	◇ 田んぼのある風景 ◇ 桜並木や屋敷林など、豊かな自然	◆ 水田の保全 ◆ 不法投棄対策
定住環境	◇ 子育て環境の充実	◆ 地区内における高齢化 ◆ 水害の危険性
交通・施設	◇ 多くの公共施設が立地	◆ 歩行者の安全の確保 ◆ 公共施設を結ぶバス路線の充実

## (3) まちづくりの目標

目標 1	みんなで支えあう、活発なコミュニティづくり
目標 2	増林らしい自然豊かな景観づくり
目標 3	誰もが安全・安心・快適に暮らせる生活環境づくり
目標 4	安全・快適に移動できる道路環境づくり

## 2 取組の体系

### 目標 1 みんなで支えあう、活発なコミュニティづくり

#### 重点的な取組 1-1 地域における交流機会の拡充

【方向性】  
① 地域交流の活性化

#### 重点的な取組 1-2 誰もが快適に利用でき、多世代が交流する公園づくり

【方向性】  
① 地域住民の憩いの場として身近な公園づくり

### 目標 2 増林らしい自然豊かな景観づくり

#### 重点的な取組 2-1 農業を中心とした生活に息づく自然の保全・活用

【方向性】  
① 農地の保全と活用  
② 農産物を活用した取組

#### 重点的な取組 2-2 自然を感じられる水辺空間の保全

【方向性】  
① 桜並木や河川緑道等の環境保全

### 目標3 誰もが安全・安心・快適に暮らせる生活環境づくり

#### 重点的な取組3-1 地域の健康・福祉体制の充実

【方向性】

- ① 子育てサポートの充実
- ② 高齢者の暮らしやすい環境の整備
- ③ 健康づくりの推進

#### 重点的な取組3-2 防災・防犯活動が活発で安全なまちづくり

【方向性】

- ① 災害に備えた取組の推進
- ② 子どもたちが安全に暮らせるまちづくり

### 目標4 安全・快適に移動できる道路環境づくり

#### 重点的な取組4-1 安全・快適な道路の整備

【方向性】

- ① 自動車の交通量増加に伴う危険性の排除と渋滞の緩和
- ② 歩行者や自転車利用者が安全に利用できる道路環境づくり

#### 重点的な取組4-2 駐車場の整備

【方向性】

- ① 公共施設の駐車場の充実

#### 重点的な取組4-3 公共交通サービスの充実

【方向性】

- ① バス利用における利便性の向上

## 3 取組内容

### 目標1 みんなで支えあう活発なコミュニティづくり

#### 重点的な取組1-1 地域における交流機会の拡充

本地区ではさまざまなイベントを通じ、活発なコミュニティ活動が行われています。引き続き、コミュニティ活動を盛り上げていくためにも、若い世代が参加しやすい環境づくりや各コミュニティ団体等との連携を強化する組織づくりを進め、住民間の交流の機会を充実させることで、住民同士が支え合えるコミュニティづくりを目指します。

方向性	具体的な内容
① 地域交流の活性化	«地域でできること» <ul style="list-style-type: none"> <li>● 多世代交流事業の検討</li> <li>● 自治会加入の促進に向けた取組の実施</li> <li>● コミュニティイベントの拡充</li> </ul> «市への期待» <ul style="list-style-type: none"> <li>○ コミュニティ活動への支援</li> </ul>

#### 重点的な取組1-2 誰もが快適に利用でき、多世代が交流する公園づくり

子どもから高齢者まで誰もが気軽に利用しやすい地域のコミュニティの場として、安心して活用できるよう、公園の維持管理に取り組みます。また、多世代の交流の場としての利活用について検討していきます。

方向性	具体的な内容
① 地域住民の憩いの場として身近な公園づくり	«地域でできること» <ul style="list-style-type: none"> <li>● 公園の維持管理の協力</li> <li>● 住民同士の交流につながる公園の利活用</li> <li>● 公園のルールの周知・呼びかけ</li> </ul> «市への期待» <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 公園のルールづくり</li> </ul>

## 目標 2 増林らしい自然豊かな景観づくり

### 重点的な取組 2-1 農業を中心とした生活に息づく自然の保全・活用

地区内には、河川、農業用水路や屋敷林などの身近に水や緑の潤いを感じることもできる豊かな自然が残っています。この貴重な自然や農地を次代の子どもたちに引き継げるよう、地区の大切な資源として保全・活用する取組を推進します。また、地区の農産物をPRするため、観光農園の拡充や道の駅の整備の検討を望みます。

方向性	具体的な内容
① 農地の保全と活用	«地域でできること» ● 小学生の農業体験・田植え体験 ● コミ協などの収穫体験 «市への期待» ○ 農地の良好な保全 ○ 農地の良好な活用
② 農産物を活用した取組	«地域でできること» ● 特産品（ネギなど）のPR «市への期待» ○ 観光農園の更なる拡充 ○ 道の駅の整備に向けた検討

### 重点的な取組 2-2 自然を感じられる水辺空間の保全

地区内には多くの河川が流れており、河川の緑道から望む田んぼや桜並木などの良好な田園風景や河川、調整池を活用した四季の里など、多くの景観スポットがあります。この豊かな景観資源を保全していくために、ごみを捨てさせない取組などを行い、水辺空間の保全を目指します。

方向性	具体的な内容
① 桜並木や河川緑道等の環境保全	«地域でできること» ● 水辺空間の活用 ● 清掃活動 ● 不法投棄防止の呼びかけ ● 四季の里(東越谷調整池)における取組の継続 «市への期待» ○ 河川・緑道の維持・管理 ○ 健康器具、照明、トイレ等の施設の充実 ○ 利用マナー等の啓発

## 目標 3 誰もが安全・安心・快適に暮らせる生活環境づくり

### 重点的な取組 3-1 地域の健康・福祉体制の充実

働く親世代の子育ての負担軽減や高齢者が活躍できる環境づくりとして、子どもから高齢者の多世代が交流するイベント等に取り組みます。また、今後も高齢化が見込まれることから、高齢者が生きがいをもって楽しく暮らせる環境づくりを整えるとともに、いつまでも健康に過ごせる活動にも取り組みます。

方向性	具体的な内容
① 子育てサポートの充実	«地域でできること» ● 子育てイベントの実施 ● 子育てサポートまじばやしの活動の充実 «市への期待» ○ 子育てイベントへの支援
② 高齢者の暮らしやすい環境の整備	«地域でできること» ● ふれあいサロンへの協力 «市への期待» ○ サロン利用者増への対応 ○ 公民館や自治会等の活動との連携
③ 健康づくりの推進	«地域でできること» ● ラジオ体操や緑道のウォーキングなど、健康づくり活動 «市への期待» ○ 健康増進に向けた河川沿いの緑道の整備（健康器具の設置など）

### 重点的な取組 3-2 防災・防犯活動が活発で安全なまちづくり

本地区は川に囲まれており、水害が懸念されるため、水害対策をはじめ、防災訓練の実施に取り組み、災害に備えます。また、防犯体制としては、犯罪危険箇所の解消に向けた取組を推進します。

方向性	具体的な内容
① 災害に備えた取組の推進	«地域でできること» ● 防災訓練の実施 ● 防災マップによる避難場所の周知 ● 火の用心、見守り活動 «市への期待» ○ 防災備品の支援 ○ 地区内の冠水等への水害対策 ○ 避難場所の周知
② 子どもたちが安全に暮らせるまちづくり	«地域でできること» ● 自治会とコミ協の協力による防犯活動 ● 地域による登下校時の見守り活動(青パト・見守り隊) «市への期待» ○ 子どもを犯罪から守るための防犯対策

## 目標 4 安全・快適に移動できる道路環境づくり

### 重点的な取組 4-1 安全・快適な道路の整備

日常生活において、子どもたちが安心して通学でき、歩行者及び自転車利用者が安全に利用できる道路環境づくりを望みます。また、子どもたちの登下校時に見守り活動を実施するなど、地域全体で道路の安全確保を目指します。

方向性	具体的な内容
① 自動車の交通量増加に伴う危険性の排除と渋滞の緩和	«地域でできること» ● 子どもたちの登下校時の見守り運動 «市への期待» ○ 公共施設へのアクセス道路の整備 ○ 渋滞箇所の改善 ○ 橋梁の耐震化
② 歩行者や自転車利用者が安全に利用できる道路環境づくり	«市への期待» ○ 歩行者も自転車利用者も安全に利用できる道路環境整備

### 重点的な取組 4-2 駐車場の整備

地区内には充実した公共施設が立地しています。イベント開催時などは駐車場が不足する傾向があります。駐車場整備の検討とあわせて、地域においてはイベント開催日が重複しないよう調整するなど、現在の駐車場を効率的に活用するための取組を実施します。

方向性	具体的な内容
① 公共施設の駐車場の充実	«地域でできること» ● 同日開催のイベントの日程調整 «市への期待» ○ 駐車場整備の検討

### 重点的な取組 4-3 公共交通サービスの充実

バス路線の空白地域や高齢者等の移動困難者のための対策として、地区住民の足である公共交通の利便性向上が必要です。そのためにも、地域において積極的に公共交通機関を利用するなど、既存のバス路線のさらなる利便性向上に向けた取組を推進します。

方向性	具体的な内容
① バス利用における利便性の向上	«地域でできること» ● 公共交通の利用促進 «市への期待» ○ 公共施設を結ぶバス路線の充実

# 大袋地区 まちづくり会議提言書

～提言にあたって～

第5次総合振興計画策定及び都市計画マスタープラン改定にあたり、大袋地区では、委員25人で構成する地区まちづくり会議を開催し、令和元年7月から4回にわたり議論を重ねてまいりました。

地区まちづくり会議では、地区の将来に向け、現況や課題を整理し、今後の地区のまちづくりの方向性について意見交換を行い、ここに提言書としてまとめております。

住民にとって、この地区に住んでよかった、また越谷市に住んでよかったと思える、よりよいまちとなるよう、私たちの思いを込めたこの提言書を尊重いただき、今後、計画の策定及び改定を進めていただきますようお願い申し上げます。

令和元年11月18日

大袋地区まちづくり会議

会長 川島 秀男

令和元年(2019年)11月18日  
大袋地区まちづくり会議

# 1 第5次越谷市総合振興計画における地区の将来像とまちづくりの目標

## (1) 大袋地区の将来像

梅かおる自然と共生する 学びとやすらぎのまち 大袋

## (2) 現況と課題

### 【現況】

大袋地区には鴨場や梅林公園、野鳥が生息する元荒川や新方川など、魅力的で特色のある景観があり、農地や屋敷林をはじめ多くの緑地も残されています。これらの地域資源を守るため、地域のつながりを活用して草花を植えるなど、豊かな緑の創出に取り組んでいます。

また、生活環境においては、大袋駅周辺のまちづくりや西大袋土地区画整理事業が進められており、さらなる地域の発展が期待できます。さらに、コミュニティ活動については、梅まつりや地域活動を中心に盛んに行われ、埼玉県立大学との連携も進められています。

### 【課題】

自然・水辺環境に恵まれているものの、緑や水と共生していくためには、農地の保全や元荒川、新方川の氾濫を防ぐための対策、災害に備えた地域の仕組みづくりが求められています。

また、空き家の増加や、大袋駅周辺における東武鉄道伊勢崎線により分断された東西の連結、大袋駅東口周辺の整備なども課題とされています。

コミュニティ活動が活発である一方、高齢化による担い手の減少や関心の希薄化が進んでおり、地域の住民が交流する機会や場所の充実が求められています。さらに、小・中学校も多くあることから、埼玉県立大学の学生との連携や多世代交流の促進により、子どもたちを地域で育てていけるような環境が求められています。

キーワード	魅力	課題
自然環境	◇ 鴨場や梅林公園の自然環境 ◇ 元荒川や新方川の水辺環境 ◇ 2つの越谷いちご観光農園	◆ 河川の氾濫や水害に対する不安 ◆ 農家の高齢化や後継者不足
生活利便性	◇ 大袋駅西口の活用 ◇ 西大袋土地区画整理事業による地域の発展	◆ 鉄道による地域分断と大袋駅東口周辺の整備 ◆ 空き家の増加による犯罪への不安
コミュニティ	◇ 梅まつりや地域の行事が活発 ◇ 埼玉県立大学と地域の連携	◆ 高齢化による自治会活動の担い手の減少

## (3) まちづくりの目標

目標 1	四季折々の豊かなみどりとやすらぐ水辺があるまちづくり
目標 2	活発な住民の活動が支える安全・便利なまちづくり
目標 3	大袋の未来を拓くコミュニティづくり

## 2 取組の体系

### 目標 1 四季折々の豊かなみどりとやすらぐ水辺があるまちづくり

#### 重点的な取組 1-1 みどりの保全・農地の有効活用のための取り組み

【方向性】

- ① 四季を感じるみどりのネットワークの形成
- ② みどりの一端を担う農地との関わり

#### 重点的な取組 1-2 水と共存するための取り組み

【方向性】

- ① 安全な水辺環境づくり
- ② 新方川・元荒川等の氾濫や水害への予防対策

### 目標 2 活発な住民の活動が支える安全・便利なまちづくり

#### 重点的な取組 2-1 みんなでつくる安全・安心の仕組みづくり

【方向性】

- ① みんなで確保する子どもの安全
- ② みんなで灯す明るいまちづくり
- ③ 災害時の安全対策

#### 重点的な取組 2-2 地域の賑わいにつながる、人や車の円滑な流れを実現

【方向性】

- ① 大袋駅周辺のまちづくり
- ② 道路・交通ネットワークの充実



### 目標3 大袋の未来を拓くコミュニティづくり

#### 重点的な取組3-1 多様なイベント等による交流を通じたコミュニティの醸成

【方向性】

- ① 楽しく賑やかな地域活動の場の展開
- ② 住民間で共存し続ける環境づくり

#### 重点的な取組3-2 多世代交流・子どもの教育による大袋の担い手育成

【方向性】

- ① 多世代交流による担い手育成
- ② 充実した教育環境の整備

## 3 取組内容

### 目標1 四季折々の豊かなみどりとやすらぐ水辺があるまちづくり

#### 重点的な取組1-1 みどりの保全・農地の有効活用のための取り組み

住民自ら花やみどりを増やす活動や清掃活動に取組み、大袋地区のみどりと水辺のネットワーク形成を図るとともに、行政と連携した街路樹や梅林公園の適正な管理が必要です。また、農家と協力し、地域活動と連携しながら、農地の有効活用や農業の支援等に取り組みます。

方向性	具体的な内容
① 四季を感じるみどりのネットワークの形成	<p>「地域でできること」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 花いっぱい運動の活性化（コンクールの実施等）</li> <li>● 花や緑の表彰制度の実行委員会の設置検討</li> <li>● 各自治会区域内公園の草花の管理・整備</li> <li>● 西大袋土地区画整理事業区域内調整池の清掃管理の協力の協力</li> </ul> <p>「市への期待」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 西大袋土地区画整理事業区域内の街路樹の整備</li> <li>○ 梅林公園の適正な管理、周辺の自然環境の保全</li> </ul>
② みどりの一端を担う農地との関わり	<p>「地域でできること」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 親子の米づくり事業の継続</li> <li>● 子どもたちの野菜栽培体験</li> <li>● 地域の農業の発展につながる農家との連携</li> </ul>

#### 重点的な取組1-2 水と共存するための取り組み

水害時に備えた具体的な防災活動の取り組みと、自然にやさしい護岸整備の促進を図ります。また、新方川・元荒川等の氾濫や水害に備え、自治会による具体的な避難行動・情報の作成を図るとともに、行政と連携した適切な水害対策が必要です。

方向性	具体的な内容
① 安全な水辺環境づくり	<p>「地域でできること」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 自然護岸を日常のふれあいの場として活用</li> </ul> <p>「市への期待」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 河川敷地の適正管理</li> </ul>
② 新方川・元荒川等の氾濫や水害への予防対策	<p>「地域でできること」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 自治会による具体的な避難行動・情報の作成</li> <li>● 水害発生予測、避難レベルの情報共有</li> </ul> <p>「市への期待」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 水害に対する地域への正確な情報提供</li> <li>○ 避難場所の周知</li> <li>○ 元荒川・新方川の氾濫対策</li> <li>○ 水害を防ぐ護岸整備促進と浸水対策</li> <li>○ 局地的豪雨に対応した住環境の向上</li> </ul>

## 目標 2 活発な住民の活動が支える安全・便利なまちづくり

重点的な取組 2-1 みんなでつくる安全・安心の仕組みづくり	
見守り活動による通学路の安全確保、明るく、安心な街づくりを進めます。災害時に備え、地域の諸団体との連携・協力による防災対策を進めます。	
方向性	具体的な内容
① みんなで確保する子どもの安全	«地域でできること» ● 市からのエリアメールの活用促進 ● 見守り隊の活動・制度の充実・人材の確保 «市への期待» ○ 大袋小学校周辺の交通安全対策
② みんなで灯す明るいまちづくり	«地域でできること» ● 登下校時の集団化を充実 ● 埼玉県立大学との連携による子どもの安全確保 «市への期待» ○ 道路照明灯の増設 ○ 空き家対策による犯罪抑制 ○ 防犯カメラの設置促進
③ 災害時の安全対策	«地域でできること» ● 地域の危険個所の地図づくり ● 災害時の子どもの安全確保 ● 地域と民間ショッピングセンター・大学等との連携による災害時の対応 «市への期待» ○ 小学校や中学校等への防災倉庫の設置 ○ 防災備蓄品の適正管理

重点的な取組 2-2 地域の賑わいにつながる、人や車の円滑な流れを実現	
大袋駅東口周辺地区まちづくり協議会による大袋駅東口周辺の整備検討と西大袋土地区画整理事業早期完成促進を働きかけます。	
方向性	具体的な内容
① 大袋駅周辺のまちづくり	«地域でできること» ● 大袋駅東口（駅前交通広場を含む）の整備の検討 ● 既存道路の改修に関する検討 «市への期待» ○ 東武鉄道伊勢崎線の高架化による東西の連結
② 道路・交通ネットワークの充実	«地域でできること» ● 西大袋土地区画整理事業早期完成の要請 «市への期待» ○ 西大袋土地区画整理事業早期完成 ○ 幹線道路の整備促進（袋山恩間線） ○ バス網の充実

## 目標 3 大袋の未来を拓くコミュニティづくり

重点的な取組 3-1 多様なイベント等による交流を通じたコミュニティの醸成	
梅まつりの活性化とPRの促進や、市民活動とコミュニティ推進協議会の連携によって、よりいっそうコミュニティの醸成を図ります。また、地域において安全・安心の暮らしを支援するとともに、高齢者等が集まる場の確保が必要です。	
方向性	具体的な内容
① 楽しく賑やかな地域活動の場の展開	«地域でできること» ● 梅まつりの充実 ● 多様な縁を活かした活動の推進 ● 市民活動支援センターとコミュニティ推進協議会との連携 ● 公共施設の利用促進とPR «市への期待» ○ 梅まつりのPR促進 ○ 地区センター・コミュニティ施設の早期整備
② 住民間で共存し続ける環境づくり	«地域でできること» ● 声掛け運動による孤立の回避と災害時の支援 ● 住民の個性を生かしたリーダーの発掘 ● 異文化との交流 «市への期待» ○ 高齢者等が集まる場の確保

重点的な取組 3-2 多世代交流・子どもの教育による大袋の担い手育成	
多様な団体の活動促進により、多世代が交流する機会づくりを図ります。また、埼玉県立大学との連携促進や子どもの居場所づくりを進めます。	
方向性	具体的な内容
① 多世代交流による担い手育成	«地域でできること» ● 多様な団体の連携及び活動促進 ● 多世代交流による地域での子育て
② 充実した教育環境の整備	«地域でできること» ● 埼玉県立大学との連携促進 ● 小学校高学年の居場所づくり «市への期待» ○ 小学校の生徒数の均衡を考慮した通学区域の検討

令和元年9月7日  
大袋地区まちづくり会議  
会長 川島 秀男 様

大袋駅東口周辺地区まちづくり協議会  
会 長 細沼 淳平

大袋駅東口周辺地区のまちづくりについて（意見）

1 はじめに

大袋駅東口周辺地区のまちづくりについては、平成18年から大袋東まちづくり協議会において、様々な検討を進めてまいりましたが、具体的な結論までには至りませんでした。また、まちづくりを進めるにあたり、重要となる駅周辺の権利者や駅利用者が協議会に関っていないことが課題となっております。

そのため、このたび関係自治会等に権利者や利用者も含めた組織として、「大袋駅東口周辺地区まちづくり協議会」を発足し、主に駅前広場やアクセス道路等の整備について、この地区にふさわしいまちづくりを検討することとなりました。

2 大袋駅東口周辺地区におけるまちづくりの検討について

大袋駅東口周辺地区のまちづくりについては、前回の大袋地区まちづくり会議提言書でも意見があり、越谷市都市計画マスタープランの地区別構想には、主な施策として、桜井地区で「国道4号から大袋駅へのアクセス道路の検討」、大袋地区で「大袋駅東口（駅前交通広場を含む）の整備の検討」が挙げられております。

また、まちづくりの課題については、大袋東まちづくり協議会をはじめ、地権者を対象としたアンケート調査や懇談会、さらには、協議会発足に伴う準備会や本協議会においても、様々な方々と意見交換を行ってまいりました。

3 大袋駅東口周辺地区におけるまちづくりに係る意見について

上記の検討を踏まえ、下記の事項について、提案いたします。

- ・駅前広場の整備等の検討に関する事
- ・アクセス道路の整備等の検討に関する事
- ・既存道路の改修に関する事
- ・防災まちづくりの強化に関する事
- ・商店街の充実・活性化に関する事

つきましては、越谷市都市計画マスタープランの施策に挙げられている「駅前広場とアクセス道路の整備の検討」を引き続き、継承するとともに、本協議会からの意見を大袋地区まちづくり会議の提言書へ反映していただきますよう、ご検討をお願いいたします。

# 荻島地区 まちづくり会議提言書

～提言にあたって～

第5次総合振興計画策定及び都市計画マスタープラン改定にあたり、荻島地区では、委員19人で構成する地区まちづくり会議を開催し、令和元年7月から4回にわたり議論を重ねてまいりました。

地区まちづくり会議では、地区の将来に向け、現況や課題を整理し、今後の地区のまちづくりの方向性について意見交換を行い、ここに提言書としてまとめております。

住民にとって、この地区に住んでよかった、また越谷市に住んでよかったと思える、よりよいまちとなるよう、私たちの思いを込めたこの提言書を尊重いただき、今後、計画の策定及び改定を進めていただきますようお願い申し上げます。

令和元年11月18日

荻島地区まちづくり会議

会長 会 田 雄 一

令和元年(2019年)11月18日  
荻島地区まちづくり会議

## 1 第5次越谷市総合振興計画における地区の将来像とまちづくりの目標

### (1) 荻島地区の将来像

利便性が高く、安心して暮らせるまち荻島

### (2) 現況と課題

#### 【現況】

荻島地区は、体育祭や夏祭りをはじめとする地域の行事において強い団結力を発揮するなど、住民同士のつながりが強く、豊かなコミュニティが形成されています。また、地域内には文教大学があり、地域の行事に学生が参加するなど、大学・学生との交流も大きな特徴です。

代表的な地域の産業として、恵まれた水資源を背景に稲作を中心とした農業が営まれており、市内有数の米の生産地となっています。

また、祭りや田植え・稲刈り体験などを通して地域の文化が継承されています。

さらに、荻島小学校の第二グラウンドには、全都道府県の県木が植えられており、県民健康福祉村やしらかぼと運動公園などが整備されるなど、地域の住民に親しまれています。

#### 【課題】

一方で、人口の減少と高齢化が進み、自治会などのコミュニティ活動に支障をきたしています。そのため、住民相互の交流を充実させるとともに、大学との交流を通じて地区の活性化を図るなど、若い世代が住み続けたいと思う環境づくりが必要です。

また、地区を代表する産業である農業については、農業従事者の高齢化や後継者不足、今後の農業経営のあり方などが課題となっており、遊休農地の有効利用や農業の魅力づくりを考えることはもとより、農地を守り、育てていくことが必要です。

さらに、住み続けたい環境づくりにおいては、ごみ捨てや自転車通行といった生活上のルールやマナー、通学路の安全確保といった、暮らしの安全・安心に関わる取組を進めていく必要があります。

地域の生活利便性をより高めるためには、幹線道路等の整備や歩行者が安心して利用できる道路整備を促進するとともに、公共交通網や公共施設の充実、地域の商業の活性化も求められます。

キーワード	魅力	課題
コミュニティ	◇ 住民同士の強い団結力 ◇ 文教大学が存在	◆ 人口の減少 ◆ 高齢化の進展と子どもの減少
農業	◇ 市内有数の米の生産地	◆ 農業従事者の高齢化 ◆ 農地の管理が困難
自然・文化	◇ 豊かな田園環境 ◇ 田植え・稲刈り体験といった地域の文化 ◇ 荻島小学校第二グラウンドに全都道府県の県木が植えられている	◆ 子どもが遊ぶことのできる公園が不足
生活利便性	◇ 交通利便性の高い国道や県道が存在 ◇ 県民健康福祉村、県営しらかぼと水上公園、しらかぼと運動公園が存在	◆ 病院や公園の不足 ◆ 公共交通網の充実 ◆ 荻島小学校の校舎と校庭の分離

### (3) まちづくりの目標

目標1	コミュニティ活動を通じて、安全・安心を目指すまちづくり
目標2	農業を守り、育てるまちづくり
目標3	豊かな自然や文化を活かしたまちづくり
目標4	地域の利便性を高めるまちづくり

## 2 取組の体系

### 目標1 コミュニティ活動を通じて、安全・安心を目指すまちづくり

#### 重点的な取組1-1 誰もが住み続けたいと思うまちづくり

【方向性】

- ① コミュニティ活動の活性化
- ② 地域と大学の活発な交流促進
- ③ 少子・高齢化対策の推進

#### 重点的な取組1-2 ごみを減らし、環境にやさしいまちづくり

【方向性】

- ① ごみ問題対策の推進

#### 重点的な取組1-3 誰もが安全・安心に暮らせる環境づくり

【方向性】

- ① 防災・防犯対策の充実
- ② 交通マナーの強化

### 目標2 農業を守り、育てるまちづくり

#### 重点的な取組2-1 地域主体による農業の活性化

【方向性】

- ① 有効な土地利用の検討
- ② 農業後継者の育成
- ③ 「稼ぐ力」の育成

### 目標3 豊かな自然や文化を活かしたまちづくり

#### 重点的な取組3-1 自然豊かな景観の保全

【方向性】

- ① 景観の保全

#### 重点的な取組3-2 文化・伝統の継承

【方向性】

- ① 文化・伝統の次世代への継承

## 目標4 地域の利便性を高めるまちづくり

#### 重点的な取組4-1 土地利用の検討

【方向性】

- ① 地域の発展のための土地利用のあり方を検討

#### 重点的な取組4-2 公共交通網の充実

【方向性】

- ① 生活利便性の向上を目指した公共交通網の充実

#### 重点的な取組4-3 人や車にやさしい道路環境づくり

【方向性】

- ① 幹線道路等の整備
- ② 街灯の設置
- ③ 道路沿いの緑化整備
- ④ バリアフリーに配慮した道路整備

#### 重点的な取組4-4 良好な河川環境づくり

【方向性】

- ① 河川整備の促進

#### 重点的な取組4-5 誰もが集まることのできる居場所づくり

【方向性】

- ① 公園・広場の整備
- ② 公共施設の整備
- ③ 買い物しやすい環境づくり

#### 重点的な取組4-6 荻島小学校のあり方の検討

【方向性】

- ① 校舎と校庭の一体化に向けた検討

### 3 取組内容

#### 目標 1 コミュニティ活動を通じて、安全・安心を目指すまちづくり

##### 重点的な取組 1-1 誰もが住み続けたいと思うまちづくり

地域の子どもを核として、あらゆる世代が楽しめる交流の機会を増やすことにより、地域活動のさらなる活性化を図ります。また、新たな住民へ自治会活動の魅力をアピールすることで、地域の活動に参加する人を増やします。

方向性	具体的な内容
① コミュニティ活動の活性化	«地域でできること» ● 親子で参加しやすい行事の企画 ● 自治会活動のアピール ● サロン活動の拡大 «市への期待» ○ 地域行事への支援 ○ 自治会活動への支援
② 地域と大学の活発な交流促進	«地域でできること» ● 大学・大学生と各自治会の交流 «市への期待» ○ 文教大学の地域開放に向けた検討
③ 少子・高齢化対策の推進	«市への期待» ○ 地域の人口を増やすための土地利用の検討

##### 重点的な取組 1-2 ごみを減らし、環境にやさしいまちづくり

自治会を主体としたごみ置き場の管理などを行い、ごみ出しのルールが守られる環境づくりを進めます。

方向性	具体的な内容
① ごみ問題対策の推進	«地域でできること» ● ごみ置き場の適切な管理 «市への期待» ○ ごみ分別の周知徹底

##### 重点的な取組 1-3 誰もが安全・安心に暮らせる環境づくり

防犯活動や情報提供・共有等により地域内の目配りをする事で、安心して暮らせる環境をつくります。また、交通マナー向上策の強化により、安全に暮らせる環境をつくります。

方向性	具体的な内容
① 防災・防犯対策の充実	«地域でできること» ● 自治会による防災・防犯活動の実施 ● 情報提供・共有の仕組みづくりの検討 ● 防犯意識の醸成 «市への期待» ○ 通学路への街灯設置 ○ 迅速な災害情報の提供 ○ 聞き取りやすい防災無線の設置
② 交通マナーの強化	«市への期待» ○ 交通マナー講習会など交通ルール指導の徹底

#### 目標 2 農業を守り、育てるまちづくり

##### 重点的な取組 2-1 地域主体による農業の活性化

農業の活性化を目指し、有効な土地利用の検討や農産物のブランド化、農業関係のイベント開催により、荻島の特徴である農業の活性化を図ります。

方向性	具体的な内容
① 有効な土地利用の検討	«地域でできること» ● 農業の活性化のための施設整備や事業内容について検討 ● 農地の集積化 ● 大規模農業経営の検討 ● 農地の企業等への賃貸借 «市への期待» ○ 農地のあり方について検討 ○ 集積に関する支援
② 農業後継者の育成	«地域でできること» ● 農業の魅力をPR «市への期待» ○ 農業後継者育成支援事業の実施
③ 「稼ぐ力」の育成	«地域でできること» ● 農産物のブランド化に向けた検討 ● 朝市・青空市場などのイベント開催 ● 生産から加工まで行うことのできる事業の検討 «市への期待» ○ 農業基盤の整備 ○ 農産物のブランド化に対する支援

### 目標 3 豊かな自然や文化を活かしたまちづくり

#### 重点的な取組 3-1 自然豊かな景観の保全

萩島らしさを感じられる田園を中心とした景観を保全するとともに、生け垣による景観など新たな魅力づくりを推進します。

方向性	具体的な内容
① 景観の保全	«地域でできること» ● 生け垣による景観づくりの推進 «市への期待» ○ 田園を中心とした景観保全への支援 ○ 生け垣を守ることへの支援

#### 重点的な取組 3-2 文化・伝統の継承

地域に伝わる文化や伝統を感じられる行事や祭りを後世に継承するための取組を推進します。

方向性	具体的な内容
① 文化・伝統の次世代への継承	«地域でできること» ● 田植え・稲刈り体験の継続実施 ● 駒まわしや羽根つきなどの伝承遊びの体験実施 ● 祭りの継続実施 «市への期待» ○ 行事への支援

### 目標 4 地域の利便性を高めるまちづくり

#### 重点的な取組 4-1 土地利用の検討

地域の特性を踏まえつつ、地域の維持・発展に資する土地利用のあり方を検討します。

方向性	具体的な内容
① 地域の発展のための土地利用のあり方を検討	«地域でできること» ● 地域主体による土地利用の検討 «市への期待» ○ 地域の発展に資する土地利用の検討

#### 重点的な取組 4-2 公共交通網の充実

高齢化が進んでいく萩島地区において、公共交通は今後より一層重要性が高まっているため、誰もが利用しやすい公共交通の充実を目指します。

方向性	具体的な内容
① 生活利便性の向上を目指した公共交通網の充実	«市への期待» ○ バス等が通行しやすい環境づくり

#### 重点的な取組 4-3 人や車にやさしい道路環境づくり

日々の生活や災害時に重要となる幹線道路や歩道の整備などにより、人や車にやさしい道路環境づくりに努めます。

方向性	具体的な内容
① 幹線道路等の整備	«市への期待» ○ 幹線道路等の整備 ○ 都市計画道路等との接続に向けた検討
② 街灯の設置	«市への期待» ○ 通学路への街灯の早期整備
③ 道路沿いの緑化整備	«市への期待» ○ 方策や方法についての検討
④ バリアフリーに配慮した道路整備	«市への期待» ○ 方策や方法についての検討



#### 重点的な取組 4-4 良好な河川環境づくり

河川や用水等の草刈りや清掃を適切に実施するとともに、段差の少ない歩道の整備を行うことで、魅力ある河川環境づくりに努めます。

方向性	具体的な内容
① 河川整備の促進	«地域でできること» ● 清掃活動の実施 «市への期待» ○ 清掃活動への支援 ○ 遊歩道等の整備に向けた検討

#### 重点的な取組 4-5 誰もが集まることのできる居場所づくり

子どもの遊び場となる公園・広場や公共施設の整備や買い物しやすい環境づくりに取り組むことで、誰もが集まることのできる居場所づくりに努めます。

方向性	具体的な内容
① 公園・広場の整備	«市への期待» ○ 公園・広場の整備に向けた検討
② 公共施設の整備	«市への期待» ○ 医療機関の設置に向けた検討 ○ 子どものための施設の整備に向けた検討
③ 買い物しやすい環境づくり	«市への期待» ○ 商業施設の誘致に向けた検討

#### 重点的な取組 4-6 荻島小学校のあり方の検討

校舎と校庭が離れているなどの課題を抱える荻島小学校の今後のあり方について、検討します。

方向性	具体的な内容
① 校舎と校庭の一体化に向けた検討	«市への期待» ○ 移転、敷地の拡充などの検討

# 出羽地区 まちづくり会議提言書

令和元年(2019年)11月18日  
出羽地区まちづくり会議

～提言にあたって～

第5次総合振興計画策定及び都市計画マスタープラン改定にあたり、出羽地区では、委員31人で構成する地区まちづくり会議を開催し、令和元年7月から3回にわたり議論を重ねてまいりました。

地区まちづくり会議では、地区の将来に向け、現況や課題を整理し、今後の地区のまちづくりの方向性について意見交換を行い、ここに提言書としてまとめております。

住民にとって、この地区に住んでよかった、また越谷市に住んでよかったと思える、よりよいまちとなるよう、私たちの思いを込めたこの提言書を尊重いただき、今後、計画の策定及び改定を進めていただきますようお願い申し上げます。

令和元年11月18日

出羽地区まちづくり会議

会長 松 苗 眞 吉

# 1 第5次越谷市総合振興計画における地区の将来像とまちづくりの目標

## (1) 出羽地区の将来像

自然と文化の調和のとれた、心豊かなまちづくり

## (2) 現況と課題

### 【現況】

出羽地区には、獅子舞や和太鼓などの伝統的な行事・文化、くわいや太郎兵衛もちなどの地元の農産物・特産品があるなど、地区独自の良さが残っています。また、出羽公園を中心に地区センター・公民館などの施設が集約されており、チューリップフェスタに象徴されるように、コミュニティ活動が活発に行われています。

地区内は、出羽堀・新川・元荒川・綾瀬川といった水辺環境に恵まれ、特に出羽堀は、歴史にも価値のある用水であることから、昔からの雰囲気を残し、た親水空間を創出し、その活用によるコミュニティづくりに取り組んでいます。

### 【課題】

コミュニティ活動による地区の結束力は強いものの、自治会等の高齢化が進んでいることから、今後より一層地区のコミュニティを活性化していくため、世代を越えて交流できる仕組みづくりを進める必要があります。

また、国道4号やJR武蔵野線は、地区の分断要素となっており、JR武蔵野線を横断する道路の一部では排水不良の問題等もあります。地区のさらなる発展のためにも、JR武蔵野線の高架化やバスをはじめとする公共交通の充実など利便性の向上が望まれます。

さらに、地区には、良好な田園風景が残されていますが、農家の高齢化や後継者不足等により、農地を活用・保全するための方策が課題となっています。

キーワード	魅力	課題
コミュニティ	◇ チューリップフェスタ等のコミュニティ活動が活発	◆ 自治会役員の高齢化 ◆ 国道4号や武蔵野線による地区の分断
自然・歴史	◇ 地区のシンボル出羽公園がある ◇ 河川が豊富	◆ 歴史・伝統文化を学ぶ場が少ない
生活利便性	◇ 出羽公園周辺に体育館や地区センターが集約されている	◆ 公共交通の利便性が不足している ◆ 国道4号や武蔵野線による地区の分断
安全・安心	◇ 地域での見守り活動が充実している	◆ 大雨時の排水が悪く、浸水する場所がある
田園・景観	◇ 国道4号西側に広がる田園風景 ◇ 緑の多い住宅地	◆ 農家の高齢化と後継者不足

## (3) まちづくりの目標

目標1	地域・世代間交流活動の推進によるコミュニティづくり
目標2	出羽堀・新川・元荒川・綾瀬川の親水空間の創出や地区の歴史・文化を継承するまちづくり
目標3	地域の交流と定住につながる生活利便性の高いまちづくり
目標4	身近な交流の場や道路の整備による安全・安心なまちづくり
目標5	田園の保全と住宅地内の緑化の推進による出羽地区の景観づくり

# 2 取組の体系

## 目標1 地域・世代間交流活動の推進によるコミュニティづくり

### 重点的な取組1-1 地域・世代間交流の推進

#### 【方向性】

- ① チューリップフェスタなど年間を通じてイベントの充実を図る
- ② 子どもたちにとって魅力があるまちにする
- ③ 農地を活用したコミュニティづくりを推進する
- ④ ボランティアを活性化させる

### 重点的な取組1-2 人々が憩う公園の維持管理と利活用

#### 【方向性】

- ① 住民と行政とが協力して公園を管理し特色ある公園をつくる
- ② 子どもがのびのびと安心して遊べる公園をつくる

## 目標2 出羽堀・新川・元荒川・綾瀬川の親水空間の創出や地区の歴史・文化を継承するまちづくり

### 重点的な取組2-1 魅力的な水辺の創出

#### 【方向性】

- ① 河川の水辺環境向上を図り、より良い生態系を築く
- ② 出羽堀と新川において安全で親水性のある空間を創出する
- ③ 元荒川・綾瀬川の水辺環境と河川敷の有効活用を考える

### 重点的な取組2-2 地域の伝統文化の継承

#### 【方向性】

- ① 伝統文化を次世代に継承していく

**目標3 地域の交流と定住につながる生活利便性の高いまちづくり**

**重点的な取組3-1 武蔵野線の周辺整備**  
【方向性】  
① 武蔵野線の高架化と側道整備の検討を引き続き行う

**重点的な取組3-2 公共交通の充実**  
【方向性】  
① バス路線網等の充実を進める

**目標4 身近な交流の場や道路の整備による安全・安心なまちづくり**

**重点的な取組4-1 道路環境の整備**  
【方向性】  
① 安心して歩行と通行のできる道路整備を行い、アクセスを向上させる

**重点的な取組4-2 誰もが安心して生活できる地域づくり**  
【方向性】  
① 子どもたちと高齢者の交流やコミュニティを活発にしてい  
② 地区住民が集まれる交流の場の活用を推進する

**重点的な取組4-3 災害に強いまちづくり**  
【方向性】  
① 都市型水害への対応を図る  
② 災害時に誰もが安心して避難できる地域をつくる

**目標5 田園の保全と住宅地内の緑化の推進による出羽地区の景観づくり**

**重点的な取組5-1 緑のあるまち並みづくり**  
【方向性】  
① 貴重な田園を守る  
② 農地の活用・保全を考える  
③ 緑の多い住宅空間を考える

**3 取組内容**

**目標1 地域・世代間交流活動の推進によるコミュニティづくり**

**重点的な取組1-1 地域・世代間交流の推進**

チュールリップフェスタをはじめ納涼大会や公民館祭りなど、年間を通じてイベントの充実を図り、地域・世代間の交流を推進するとともに、小・中学校等と連携するなど、子どもたちが参加でき、魅力を感じられるまちを目指します。  
また、農地を活用した農業体験事業に引き続き取り組むとともに、地域の課題解決に取り組むボランティア団体が活躍できる環境づくりに努めます。

方向性	具体的な内容
① チュールリップフェスタなど年間を通じてイベントの充実を図る	«地域でできること» ● 広報活動の充実 ● 新しい世代への周知・啓発活動（世代間の交流）
② 子どもたちにとって魅力があるまちにする	«地域でできること» ● 自主的な子どもイベントの実施 ● 小・中学校やPTAとの連携 «市への期待» ○ 子どもを対象にした活動への支援
③ 農地を活用したコミュニティづくりを推進する	«地域でできること» ● 農業体験の継続的な取組 «市への期待» ○ 市民農園の柔軟な貸出し ○ 農業従事者の意見把握・反映
④ ボランティアを活性化させる	«地域でできること» ● 継続的なボランティア活動の実施

**重点的な取組1-2 人々が憩う公園の維持管理と利活用**

出羽公園は、地域のシンボリックな公園であり、自治会や利用団体による枝おろし作業等の維持管理活動が行われているほか、花いっぱい運動など地域におけるコミュニティの場として活用されています。出羽公園を維持し、さらなる利活用を図るためには、地域住民が参加できる仕組みづくりに取り組むとともに、子どもがのびのびと安心して利用できるような公園の維持管理が必要です。

方向性	具体的な内容
① 住民と行政とが協力して公園を管理し特色ある公園をつくる	«地域でできること» ● 魅力的な公園づくり（小規模公園の活用） ● 公園の定期的な管理（除草など） «市への期待» ○ 公園の定期的な管理（樹木など） ○ 遊具の更新・整備
② 子どもがのびのびと安心して遊べる公園をつくる	«地域でできること» ● 皆が利用しやすい公園の管理 ● 子どもがのびのびと遊べる公園づくり

**目標 2 出羽堀・新川・元荒川・綾瀬川の親水空間の創出や地区の歴史・文化を継承するまちづくり**

**重点的な取組 2-1 魅力的な水辺の創出**

出羽堀、新川、元荒川及び綾瀬川による親水空間は、古くからの雰囲気を残した魅力ある景観を形成しています。これらの親水空間を、より魅力的なものにするためには、水路及び道路整備による景観保全や、遊歩道整備による水辺の有効活用が必要です。

さらに、河川敷の環境整備については、引き続き、自治会やボランティア団体を中心に取り組んでいく必要があります。

方向性	具体的な内容
① 河川環境向上を図り、より良い生態系を築く	«地域でできること» ● 住民にできる水質対策 «市への期待» ○ 行政における水質対策
② 出羽堀と新川において安全で親水性のある空間を創出する	«地域でできること» ● 水辺周辺の利用や管理の徹底 «市への期待» ○ 水辺空間の整備
③ 元荒川・綾瀬川の水辺環境と河川敷の有効活用を考える	«地域でできること» ● 地域住民主体の河川敷の環境整備 ● 水辺環境改善への協力 «市への期待» ○ 遊歩道等の河川敷の整備・有効活用の検討

**重点的な取組 2-2 地域の伝統文化の継承**

谷中の囃子や太鼓をはじめとする地域で受け継がれている伝統文化・芸能をコミュニティの場等で広く紹介し、次世代に伝えるよう取り組みます。また、小中学校等において、伝統文化の後継者を育てる場や取組を検討する必要があります。

方向性	具体的な内容
① 伝統文化を次世代に継承していく	«地域でできること» ● 地域の伝統文化・芸能の調査・研究による継承 ● 歴史散策の定期的な開催 «市への期待» ○ 小中学校における伝統文化継承の取組

**目標 3 地域の交流と定住につながる生活利便性の高いまちづくり**

**重点的な取組 3-1 武蔵野線の周辺整備**

武蔵野線の高架化及び周辺道路の整備について、その早期実現に向け、引き続き要望活動に取り組みます。

方向性	具体的な内容
① 武蔵野線の高架化と側道整備の検討を引き続き行う	«地域でできること» ● 武蔵野線高架化の要望 ● 長期的視点での新駅設置要望 «市への期待» ○ 地域要望への支援

**重点的な取組 3-2 公共交通の充実**

バス路線を中心としたさらなる公共交通の充実を求めるとともに、積極的に利用することで、既存のバス路線の維持に努めます。

方向性	具体的な内容
① バス路線網等の充実を進める	«地域でできること» ● 地域におけるバスの利用促進・地域でのPR ● 地域における公共交通のあり方の検討 «市への期待» ○ バス路線を維持するための支援 ○ 公共交通検討の支援

## 目標 4 身近な交流の場や道路の整備による安全・安心なまちづくり

### 重点的な取組 4-1 道路環境の整備

日常生活に欠かせない歩行者及び自転車利用者が、安全に利用できる道路整備が必要です。また、子どもたちが安心して通学できる道路環境づくりに努めます。

方向性	具体的な内容
① 安心して歩行と通行のできる道路整備を行い、アクセスを向上させる	«地域でできること» ● 危険箇所見守り等によるスクールゾーンの見直し «市への期待» ○ 安全な歩道と自転車道の整備（歩車分離） ○ 計画的な道路整備 ○ 道路規制等の見直し

### 重点的な取組 4-2 誰もが安心して生活できる地域づくり

高齢化が急速に進む中で、高齢者が地域活動に取り組み、住み慣れた地域で安心して生きがいのある生活を送ることができるようなコミュニティづくりに努めます。

さらに、地域住民の交流の場として、地区センター・公民館及び自治会館等を有効に活用するとともに、新しい交流の場の整備を検討する必要があります。

方向性	具体的な内容
① 子どもたちと高齢者の交流やコミュニティを活発にしていく	«地域でできること» ● 継続した高齢者のコミュニティづくり ● 子どもの見守り活動 «市への期待» ○ 地域包括支援センターとの連携強化
② 地区住民が集まれる交流の場の活用を推進する	«地域でできること» ● 既存施設における地区住民の交流の場の検討 ● ルールの見直しなど住民が使いやすい仕組みづくり «市への期待» ○ 交流の場の整備検討

### 重点的な取組 4-3 災害に強いまちづくり

近年の都市化及び地球環境の変化による集中豪雨等による浸水被害が区内でも多くなっており、自然災害への備えに対する地域住民の関心は、ますます高くなっています。

災害に強い地域を目指し、防災名簿の作成や避難所体験訓練等の地域での自主的な取組を進めるとともに、調整池の整備やポンプの管理等浸水対策が必要です。

方向性	具体的な内容
① 都市型水害への対応を図る	«市への期待» ○ 浸水対策の充実
② 災害時に誰もが安心して避難できる地域をつくる	«地域でできること» ● 災害時要援護者名簿の活用 ● 地域での避難ルールづくり

## 目標 5 田園の保全と住宅地内の緑化の推進による出羽地区の景観づくり

### 重点的な取組 5-1 緑のあるまち並みづくり

多くの人々が暮らし、そして、多くの人々が訪れる本地区においては、住民や来訪者が身近に水や緑を感じることができる潤いのあるまちづくりに向けて、地域資源を活かした緑化の推進を図るとともに、魅力ある景観づくりに努めます。

方向性	具体的な内容
① 貴重な田園を守る	«地域でできること» ● 農作物の地産地消 «市への期待» ○ 遊水機能がある田園の保存方法の検討
② 農地の活用・保全を考える	«地域でできること» ● 農地の活用方法の検討 «市への期待» ○ 農地活用のための農業振興地域整備計画の見直し ○ 農地と住宅地の区画区分の検討
③ 緑の多い住宅空間を考える	«地域でできること» ● 住宅地における緑化促進 «市への期待» ○ 地域の取組への支援



# 蒲 生 地 区 まちづくり会議提言書

～提言にあたって～

第5次総合振興計画策定及び都市計画マスタープラン改定にあたり、蒲生地区では、委員22人で構成する地区まちづくり会議を開催し、令和元年7月から4回にわたり議論を重ねてまいりました。

地区まちづくり会議では、地区の将来に向け、現況や課題を整理し、今後の地区のまちづくりの方向性について意見交換を行い、ここに提言書としてまとめております。

住民にとって、この地区に住んでよかった、また越谷市に住んでよかったと思える、よりよいまちとなるよう、私たちの思いを込めたこの提言書を尊重いただき、今後、計画の策定及び改定を進めていただきますようお願い申し上げます。

令和元年11月18日

蒲生地区まちづくり会議

会長 浅見 昭一

令和元年(2019年)11月18日  
蒲生地区まちづくり会議



# 1 第5次越谷市総合振興計画における地区の将来像とまちづくりの目標

## (1) 蒲生地区の将来像

緑豊かな 心ふれあう ふるさと蒲生

## (2) 現況と課題

### 【現況】

蒲生地区はJRの南越谷駅、東武鉄道の新越谷駅、蒲生駅という3つの駅を有し、地区内を走る主要幹線道路の整備も進むなど、交通の便に優れた環境にあります。また、公共施設や生活に必要な施設が充実するなど、良好な住環境が整っています。

こうしたことから、マンション等が増え、新たな人口の流入もあり、住民のライフスタイルは多様化していますが、自治会活動による人のつながりや、地区住民の多さを活かし、蒲生フェスティバルなどのコミュニティ活動も盛んに行われています。

### 【課題】

住民も多くコミュニティ活動も盛んな蒲生地区ですが、参加者や役員が高齢化しており、これまで以上に住民一丸となって、特に新規住民や若い人たちも参加しやすいコミュニティを積極的に作り上げていく仕組みが求められています。また、さらなるコミュニティ活動推進のため、蒲生地区としての一体感あるまちづくりに向けて、学区や地区境界の見直しを求める声もあります。

古くから発展してきた商店街が町のにぎわいの中心でしたが、以前ほどの活気がなくなってきていることから、空き店舗の活用等、活性化に向けた取組が求められています。

蒲生地区はこれまで、災害による大きな被害はありませんが、事故や犯罪、自然災害に対する日頃の備えが重要であることから、地区としても住民の安全を守る取組が求められています。

キーワード	魅力	課題
コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 自治会活動が盛んである</li> <li>◇ 地区住民が多い</li> <li>◇ 子どもや親同士のつながりがある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 新規住民や若い人のコミュニティ活動への参加が少なく、役員が固定化、高齢化している</li> <li>◆ 飛び地や学区の問題により一体的な活動が難しい</li> </ul>
子育て・にぎわい	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 公共施設が充実している</li> <li>◇ 夏祭りなどが盛んである</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 子どもが自由に遊べる場所が少ない</li> <li>◆ 商店街に以前ほどの活気がなくなってきている</li> </ul>
安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 鉄道駅があり、通勤・通学に便利である</li> <li>◇ 道路の整備が進んでいる</li> <li>◇ 災害による被害が少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 狭い・暗い道路（歩道）がある</li> <li>◆ 手助けが必要な人がどこにどの程度いるのかわからない</li> <li>◆ 地区が分断されているため、災害時の活動や情報共有が難しい</li> </ul>

## (3) まちづくりの目標

目標1	あらゆる世代が交流する全員参加のまちづくり
目標2	子どももまちもみんなで育む ほどよく“おせっかい”なまちづくり
目標3	安全で安心して暮らせるまちづくり

## 2 取組の体系

### 目標1 あらゆる世代が交流する全員参加のまちづくり

#### 重点的な取組1-1 新たな人材（特に若い世代）の参加促進

【方向性】

- ① 参加のきっかけづくり
- ② 新しい人が入ってきやすい組織づくり
- ③ 学校との連携

#### 重点的な取組1-2 新たなまちづくり活動に向けた進化、改革

【方向性】

- ① コミュニティ活動の活性化
- ② 地区の再編検討

### 目標2 子どももまちもみんなで育む ほどよく“おせっかい”なまちづくり

#### 重点的な取組2-1 子どもたちが元気に遊ぶまちづくり

【方向性】

- ① 子どもたちの自由な遊びの支援
- ② 放課後活動の支援

#### 重点的な取組2-2 まちのにぎわいづくり

【方向性】

- ① 商店街の活性化

### 目標3 安全で安心して暮らせるまちづくり

#### 重点的な取組3-1 安全に生活できる交通環境の整備

【方向性】

- ① 交通ルールの遵守
- ② 交通安全のための環境整備

#### 重点的な取組3-2 安心して生活できる防犯のまちづくり

【方向性】

- ① 犯罪を防止するための取組
- ② 夜道を明るくする取組

#### 重点的な取組3-3 地区住民を守る防災のまちづくり

【方向性】

- ① 安全に避難できる体制づくり
- ② まちなかの災害対策

### 3 提言内容

#### 目標1 あらゆる世代が交流する全員参加のまちづくり

##### 重点的な取組1-1 新たな人材（特に若い世代）の参加促進

活発な地域コミュニティを維持していくためには、新たな人材、特に若い世代の参加が不可欠であることから、イベントや行事をきっかけとした地域活動への参加を促すとともに、学校との連携により子どもたちや親世代が気軽に参加できる仕組みをつくりまします。

方向性	具体的な内容
① 参加のきっかけづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>● あいさつを通じた顔の見える関係づくり</li> <li>● 蒲生フェスティバルへの参加・協力、呼びかけ</li> <li>● 多世代が交流できる行事の企画</li> </ul>
② 新しい人が入ってきやすい組織づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新たな組織づくり、活動の支援</li> <li>● 中高生、大学生から参加できる地域活動</li> <li>● 成人式の実行委員と自治会活動の連携</li> </ul>
③ 学校との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学校と地域の情報共有</li> <li>● 小中学校の行事への協力体制づくり</li> <li>● 自治会と学校とのつながりを強めるイベントの企画</li> </ul>

##### 重点的な取組1-2 新たなまちづくり活動に向けた進化、改革

コミュニティ活動を活性化するために、自治会での活動情報の共有や発信はもとより、自治会同士の交流を推進します。また、地区の再編について、住民意見を把握、集約した上で、よりよいコミュニティ区や学区のあり方について市と協議していく必要があります。

方向性	具体的な内容
① コミュニティ活動の活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>● コミュニティ活動情報の共有と発信</li> <li>● 自治会同士の交流</li> </ul>
② 地区の再編検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地区の再編についての住民意見の把握・集約</li> <li>● 隣接する地区間での再編に向けた調整</li> </ul>

目標2 子どももまちもみんなで作る ほどよく“おせっかい”なまちづくり

重点的な取組2-1 子どもたちが元気に遊ぶまちづくり

自治会のなかで子どもたちが自由に遊び学べる環境を整えるとともに、子育て中の親を含めて地域住民が目を配り、手を差し伸べる“おせっかい”活動による子育ての手助けを推進します。また、学校での放課後活動など、地域でも支援していく仕組みづくりを進めます。

方向性	具体的な内容
① 子どもたちの自由な遊びの支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちが自由に遊び活動できる環境づくり</li> <li>子育て中の親を含めて支える“おせっかい”</li> </ul>
② 放課後活動の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治会単位での放課後活動支援の検討</li> <li>地域に埋もれている人材の活用を検討</li> </ul>

重点的な取組2-2 まちのにぎわいづくり

本地区には、県内有数の商店街があり、これまでまちのにぎわいの中心として親しまれてきましたが、近年はシャッターをおろしている店舗が増えています。このにぎわいを取り戻す取組として夏祭りや様々なイベントを商店街と連動して取り組み、若い力の活躍の場づくりや商店街の活性化につながるまちづくりを進めます。

方向性	具体的な内容
① 商店街の活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>蒲生フェスティバルと商店街のイベントの連動</li> <li>イベント備品購入などでの地元商店優先</li> <li>空きスペースの活用方法の検討</li> </ul>

目標3 安全で安心して暮らせるまちづくり

重点的な取組3-1 安全に生活できる交通環境の整備

主要幹線道路や鉄道駅を抱える本地区では、交通事情の変化により地区内の交通量も増加しており、生活道路への流入による事故などの危険性も増していることから、交通安全のための環境整備を進める必要があります。また、交通ルールや自転車マナーなどの普及・啓発を図っていきます。

方向性	具体的な内容
① 交通ルールの遵守	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通ルール、自転車マナーの遵守</li> <li>家庭や地域からの交通安全への呼びかけ</li> </ul>
② 交通安全のための環境整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>住宅地でのスピード抑制の啓発看板の設置</li> <li>危険箇所の情報の集約・共有</li> </ul>

重点的な取組3-2 安心して生活できる防犯のまちづくり

近年、子どもたちが犯罪被害にあうケースも増えていることから、地域の防犯パトロールの強化や危険な箇所への防犯カメラ設置などを推進するとともに、自宅門灯や商店の明かりなどで夜道を明るくするなど、地域ぐるみで防犯のまちづくりに取り組みます。

方向性	具体的な内容
① 犯罪を防止するための取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>防犯パトロールへの参加と協力</li> <li>日常生活のなかでの見守り</li> </ul>
② 夜道を明るくする取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>自宅門灯の点灯による明るい夜道づくり</li> <li>商店の協力による明るい夜道づくり</li> </ul>

### 重点的な取組 3-3 地区住民を守る防災のまちづくり

これまで災害による大きな被害がなく住民も安全だと感じている人が多い地区ですが、ひとたび自然災害が起これば住民の命が危険にさらされてしまうことから、特に地区内で手助けの必要な人についての情報を把握し、いざというときに安全に避難できる体制を整えておく必要があります。また、日頃から安全な避難経路の把握や必要な防災用品の備蓄、まちなかの危険箇所の把握など、災害対策にも取り組みます。

方向性	具体的な内容
① 安全に避難できる体制づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自治会による地域住民の把握</li> </ul>
② まちなかの災害対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 災害時に危険な箇所や避難経路の確認（防災マップの活用）</li> <li>● 防災意識の向上に向けた取組</li> </ul>

## 市への期待

### 目標 1 あらゆる世代が交流する全員参加のまちづくり

#### 重点的な取組 1-1 新たな人材（特に若い世代）の参加促進

方向性	具体的な内容
① 参加のきっかけづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域活動参加へのインセンティブ導入検討（地域で使えるポイント制など）</li> </ul>
③ 学校との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 小中学校と地域住民の連携支援</li> </ul>

#### 重点的な取組 1-2 新たなまちづくり活動に向けた進化、改革

方向性	具体的な内容
② 地区の再編検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 将来を見据えたコミュニティ区、学区の再編検討（中学校の地区内設置等）</li> </ul>

### 目標 2 子どももまちもみんなで育む ほどよく“おせっかい”なまちづくり

#### 重点的な取組 2-1 子どもたちが元気に遊ぶまちづくり

方向性	具体的な内容
① 子どもたちの自由な遊びの支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 子どもたちの遊び場の整備・充実</li> </ul>
② 放課後活動の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 放課後活動の取組に対する支援</li> </ul>

### 目標 3 安全で安心して暮らせるまちづくり

#### 重点的な取組 3-1 安全に生活できる交通環境の整備

方向性	具体的な内容
① 交通ルールの遵守	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 交通安全教育の充実</li> </ul>
② 交通安全のための環境整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 危険箇所を踏まえた環境整備</li> </ul>

#### 重点的な取組 3-2 安心して生活できる防犯のまちづくり

方向性	具体的な内容
① 犯罪を防止するための取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 防犯カメラの設置</li> </ul>
② 夜道を明るくする取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 街路灯の設置</li> </ul>

#### 重点的な取組 3-3 地区住民を守る防災のまちづくり

方向性	具体的な内容
① 安全に避難できる体制づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 災害時に備えた自主防災組織や自治会加入の促進</li> </ul>
② まちなかの災害対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ブロック塀の安全啓発</li> </ul>



# 川柳地区 まちづくり会議提言書

～提言にあたって～

第5次総合振興計画策定及び都市計画マスタープラン改定にあたり、川柳地区では、委員25人で構成する地区まちづくり会議を開催し、令和元年7月から4回にわたり議論を重ねてまいりました。

地区まちづくり会議では、地区の将来に向け、現況や課題を整理し、今後の地区のまちづくりの方向性について意見交換を行い、ここに提言書としてまとめております。

住民にとって、この地区に住んでよかった、また越谷市に住んでよかったと思える、よりよいまちとなるよう、私たちの思いを込めたこの提言書を尊重いただき、今後、計画の策定及び改定を進めていただきますようお願い申し上げます。

令和元年11月18日

川柳地区まちづくり会議

会長 久保田 和 夫

令和元年(2019年)11月18日  
川柳地区まちづくり会議

# 1 第5次越谷市総合振興計画における地区の将来像とまちづくりの目標

## (1) 川柳地区の将来像

豊かな自然と郷土愛あふれる快適なまちづくり

## (2) 現況と課題

### 【現況】

川柳地区は、レイクタウンの整備により若い世代を中心に人口が増え、活気あふれる地区です。地区のコミュニティ活動が活発であるとともに、防犯防災への意識が高く、防犯パトロールや防災訓練等の地域活動が盛んに行われています。

また、老人福祉センターひのき荘は、高齢者の憩いと安らぎの場となるとともに、健康増進やいきがづくり等を目的に様々な交流が行われています。

地区内は大部分が市街化調整区域で豊かな田園環境や水路等の自然が残っています。また、教育施設が多く、文教地区となっています。

### 【課題】

さまざまなコミュニティ活動が行われ住民同士の交流が盛んですが、特にレイクタウン地域の新規住民と従前の住民とのより一層の交流が求められています。

地区内の豊かな自然や田園等の景観を残し、活用していく方策が必要とされているとともに、きれいで住みよい居住環境の形成のため、市街化調整区域の公共下水道の整備や、農業用水と生活排水の分離等の生活排水対策が求められています。

また、文教地区として、子どもたちの安全な通学路の整備を行っていくとともに、災害や犯罪・事故から地域住民の命を守るため、日頃から防災や防犯、交通安全等の取組を進めていくことが求められています。

このようなコミュニティ活動や教育、福祉、防災等の拠点となる地区センターは老朽化が進んでおり、耐震化等の対策も必要なことから、さまざまな機能を有した新たな地区の拠点としての整備が早急に求められています。

キーワード	魅力	課題
地域の拠点	◇ コミュニティ活動が活発である	◆ 地区センターが老朽化している
コミュニティ	◇ レイクタウンの整備により地区人口が増加している	◆ 新旧住民の交流のための場所や機会が少ない
子ども	◇ 小・中学校、高校等の教育施設が多い文教地区である	◆ 通学路の歩道整備が不十分 ◆ 子どもの遊び場が少ない
自然・環境	◇ 田園と用水等の自然景観が豊かである	◆ 用・排水分離対策が不十分 ◆ 桜並木の維持管理等の保全が必要
安全・安心	◇ 防犯パトロールや防災訓練の実施が盛んで防犯防災への意識が高い	◆ 道路・歩道に危険な箇所がある ◆ 防災に対する備蓄や拠点の整備が不十分

## (3) まちづくりの目標

目標 1	川柳の良さをさらに推進する新たな地域活動の拠点づくり (新たな地区センターの整備)
目標 2	美しく住みやすい安全・快適な住環境づくり
目標 3	犯罪を未然に防ぐとともに、災害に強い地区づくり

## 2 取組の体系

### 目標 1 川柳の良さをさらに推進する新たな地域活動の拠点づくり (新たな地区センターの整備)

#### 重点的な取組 1-1 新たな地域活動の拠点づくり

【方向性】

- ① 地区センターを整備し、新たな地域活動の拠点とする

#### 重点的な取組 1-2 地区住民の交流の拠点づくり

【方向性】

- ① 多世代の交流を推進する
- ② 新旧住民の交流を推進する
- ③ コミュニティ活動の維持継続や活性化を推進する

#### 重点的な取組 1-3 学習や教育の拠点づくり

【方向性】

- ① 子どもたちの学びの場をつくる
- ② 参加したくなる生涯学習のメニューを増やす
- ③ 地区の歴史や文化、自然を知る機会を増やす

#### 重点的な取組 1-4 子育てや福祉の拠点づくり

【方向性】

- ① 子育て中の親子が集まる場をつくる
- ② 元気で活動的な高齢者を増やす

#### 重点的な取組 1-5 防災の拠点づくり

【方向性】

- ① 地区の防災拠点を整備する
- ② 防災拠点に備蓄倉庫を整備する

## 目標2 美しく住みやすい安全・快適な住環境づくり

### 重点的な取組2-1 美しく住みやすい環境づくりのためのマナーの向上

【方向性】

- ① まちの美化とごみ対策を推進する
- ② 交通マナーを徹底する
- ③ ペットの飼育マナーを改善する

### 重点的な取組2-2 下水道等の整備による衛生的で住みやすいまちづくり

【方向性】

- ① 下水道を整備し、生活環境を改善する
- ② 水路の整備と管理を推進する

### 重点的な取組2-3 人にやさしい安全な道路環境づくり

【方向性】

- ① 歩行者や自転車の安全性を高める

### 重点的な取組2-4 豊かな自然や景観を残す川柳らしい住環境づくり

【方向性】

- ① 豊かな自然・田園環境を保全していく
- ② 川柳らしい景観を形成する

## 目標3 犯罪を未然に防ぐとともに、災害に強い地区づくり

### 重点的な取組3-1 犯罪から地区を守る環境・体制づくり

【方向性】

- ① 犯罪を防ぐための見守り活動を推進する
- ② 危険な夜道を解消する
- ③ 地域の安全を守る環境整備

### 重点的な取組3-2 防災機能の強化・災害対策の充実

【方向性】

- ① 災害（風水害、地震等）対策を検討する
- ② 避難場所や避難方法を周知、徹底する
- ③ 災害弱者対策を検討する

## 3 取組内容

### 目標1 川柳の良さをさらに推進する新たな地域活動の拠点づくり (新たな地区センターの整備)

#### 重点的な取組1-1 新たな地域活動の拠点づくり

地区センターは、住民同士の交流や学び、子育て、福祉、防災等の様々な地域活動の拠点となっています。しかしながら、地区センターにおいては、老朽化が進み耐震性等も問題になっていることから、新たな地区センターの早期整備を市に要望します。

方向性	具体的な内容
① 地区センターを整備し、新たな地域活動の拠点とする	«地域でできること» ● 新たな地区センターの整備に関する検討 «市への期待» ○ 新たな地区センターの早期整備

#### 重点的な取組1-2 地区住民の交流の拠点づくり

子どもから高齢者まであらゆる住民が参加できる活動や夏祭り等の行事を充実し、多世代の交流を推進します。特に、レイクタウン地域には若い世帯も増えていることから、スポーツイベント等を通じた新旧住民の交流を促進します。

また、今後も良好なコミュニティを維持発展していくために、地区活動の運営や活性化に向けた体制づくり等を検討します。

方向性	具体的な内容
① 多世代の交流を推進する	«地域でできること» ● 老若男女参加のスポーツイベントを開催する ● 昔の遊びや伝承遊び等の大人の知識や経験を子どもに伝える ● 夏祭り等のイベントの充実・PR ● 若い人が参加できるボランティア活動の充実
② 新旧住民の交流を推進する	«地域でできること» ● スポーツ活動を通じた交流の推進 ● レイクタウンの自治会との交流を促進し、新旧住民との交流を図る «市への期待» ○ スポーツ公園の整備
③ コミュニティ活動の維持継続や活性化を推進する	«地域でできること» ● コミュニティ活動を推進するための体制、しくみづくり «市への期待» ○ まちづくり活動への助成金の充実



重点的な取組 1-3 学習や教育の拠点づくり	
<p>地域の子どもの健やかな育ちと学びの場として、学校の夏休み期間や放課後等に地区センターでの学習支援を行います。また、地域住民同士の学びの場として様々な講座を企画するとともに、川柳地区の歴史や文化、自然を学ぶ機会を増やします。</p>	
方向性	具体的な内容
① 子どもの学びの場をつくる	<p>《地域でできること》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 夏休み期間や放課後等の小・中学生の学習支援</li> <li>● 学校応援団の一部を公民館で実施する</li> <li>● 昔の遊びや伝承遊びを教える</li> </ul>
② 参加したくなる生涯学習メニューを増やす	<p>《地域でできること》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 高齢者向けの講座・イベント</li> <li>● 講座やサークル活動の豊富なメニューづくり</li> <li>● 時事問題に即した講座の実施（中高生が講師の流行語講座、スマホ講座等）</li> </ul> <p>《市への期待》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新たな講座メニューの検討</li> </ul>
③ 地区の歴史や文化、自然を知る機会を増やす	<p>《地域でできること》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 郷土愛をもってもらうための自然観察グループの拠点づくり</li> <li>● 川柳の歴史や伝統、行事等を知る講座の開催</li> </ul> <p>《市への期待》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 専門的知識のある講師の派遣</li> </ul>

重点的な取組 1-4 子育てや福祉の拠点づくり	
<p>核家族化が進み孤立しがちな子育て中の親が、気軽に集い地域で相談や支援を受けられる場をつくります。また、特に、地域活動への参加のきっかけがつかみにくい男性高齢者向けの講座やイベントを実施し、地域を支える元気で活動的な高齢者を増やします。</p>	
方向性	具体的な内容
① 子育て中の親子が集まる場をつくる	<p>《地域でできること》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域で子育て相談が出来る環境・場所づくり</li> <li>● 子ども食堂の設置の検討</li> <li>● 子どもの遊び教室の拡充</li> <li>● 親子対象の講座（ベビーマッサージ等）の充実</li> </ul> <p>《市への期待》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 保育関係の専門家の派遣</li> </ul>
② 元気で活動的な高齢者を増やす	<p>《地域でできること》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 男性高齢者向けの講座・イベント</li> <li>● 高齢者向けの体操や健康づくり講座の実施</li> <li>● 講座やサークル活動の豊富なメニューづくり</li> </ul> <p>《市への期待》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 専門家や講師の派遣</li> <li>○ 新たな講座メニューの検討</li> </ul>

重点的な取組 1-5 防災の拠点づくり	
<p>地区の防災拠点となる地区センターは老朽化が進み耐震性等も問題になっていることから、新たな地区センターの早期整備を市に要望します。</p>	
方向性	具体的な内容
① 地区の防災拠点を整備する	<p>《地域でできること》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 新たな地区センターの整備に関する検討</li> </ul> <p>《市への期待》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新たな地区センターの早期整備</li> </ul>
② 防災拠点に備蓄倉庫を整備する	<p>《地域でできること》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 備蓄倉庫の備蓄品の検討</li> <li>● 家庭での備蓄（自助）への普及活動</li> </ul> <p>《市への期待》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 備蓄倉庫の整備</li> <li>○ 備蓄品の充実</li> </ul>

目標 2 美しく住みやすい安全・快適な住環境づくり

重点的な取組 2-1 美しい住みやすい環境づくりのためのマナーの向上

いつまでも美しく住みやすい地区の環境を守るために、クリーン作戦やごみ捨てルールの徹底等、まちの美化活動を推進します。また、近年特に自転車の交通違反による事故やトラブルも増えていることから交通マナーの徹底を推進します。

さらに、ペット飼育による近隣トラブルもみられることから、ペットの飼育マナー向上に取り組めます。

方向性	具体的な内容
① まちの美化とごみ対策を推進する	«地域でできること» ● クリーン作戦の継続 ● ポイ捨て禁止の呼びかけ «市への期待» ○ ごみの集積場所の増設
② 交通マナーを徹底する	«地域でできること» ● 交通マナー勉強会の実施 ● 自転車の交通安全に関する講習会等の実施 «市への期待» ○ 学校での交通マナー学習の継続
③ ペットの飼育マナーを改善する	«地域でできること» ● ペットマナー向上の推進 ● ペットのマナー教室の実施 «市への期待» ○ マナー看板の継続設置 ○ ドッグランの整備

重点的な取組 2-2 下水道等の整備による衛生的で住みやすいまちづくり

地区内には豊かな田園や水路が多くありますが、大部分が市街化調整区域で下水道整備区域に含まれないため、生活排水処理の改善を望む声が多くあります。一部では農業用水への流入もみられることから早期の対応を要します。

また、U字溝や水路で転落の危険や害虫の発生等、問題になっている箇所もあることから、必要な対策を要します。

方向性	具体的な内容
① 下水道を整備し、生活環境を改善する	«地域でできること» ● 市街化調整区域での下水道整備の要請 «市への期待» ○ 生活排水の整備（農業用水への流入防止）
② 水路の整備と管理を推進する	«地域でできること» ● 危険箇所、要改善箇所の点検 «市への期待» ○ 計画的な用水の整備 ○ 八条用水右岸側の緑道整備 ○ U字溝や水路の管理（清掃、蓋の改良、害虫駆除）

重点的な取組 2-3 人にやさしい安全な道路環境づくり

歩行者及び自転車利用者が安全に利用でき、事故や渋滞を減少させる道路環境整備に向けて、危険箇所の点検活動を引き続き実施し、関係機関へ改善を要請します。特に、通学路となっているものの歩道が整備されていない箇所については、子どもたちが安心して通学できるよう、早期の整備を要請します。

方向性	具体的な内容
① 歩行者や自転車の安全性を高める	«地域でできること» ● 危険箇所、改善箇所の点検活動の継続 «市への期待» ○ 道路危険箇所の改善や整備 ○ 県道整備促進への働きかけ（蒲生柿木川戸線） ○ 都市計画道路の整備促進（川柳大成町線） ○ 通学路の整備

### 重点的な取組 2-4 豊かな自然や景観を残す川柳らしい住環境づくり

地区内には屋敷林等が残されている場所もあり、こうした貴重な緑を残し活用する方策等を検討します。また、豊かな自然の恵みのなかで育つ生き物の保護や景観を維持する仕組みづくり等についても検討します。

方向性	具体的な内容
① 豊かな自然・田園環境を保全していく	«地域でできること» <ul style="list-style-type: none"> <li>● まちなかの自然（地区内の屋敷林等）の保全や活用の検討</li> <li>● 貴重な生き物の保護（カワセミ、ギンヤンマ等）</li> <li>● レイクタウン（大相模調節池等）での生きもの調査の継続実施</li> </ul> «市への期待» <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地区の自然・環境を保全するための計画の策定</li> <li>○ 環境モデル地区の指定に向けた検討、環境保全の取組実施</li> </ul>
② 川柳らしい景観を形成する	«地域でできること» <ul style="list-style-type: none"> <li>● 景観保全、形成のためのルール作り等の検討</li> </ul> «市への期待» <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 景観保全、景観形成のための制度（規制等）の検討</li> <li>○ 桜並木の保全</li> </ul>

### 目標 3 犯罪を未然に防ぐとともに、災害に強い地区づくり

#### 重点的な取組 3-1 犯罪から地区を守る環境・体制づくり

地域住民を犯罪から守るため、防犯パトロールを継続して実施するとともに、地域住民の協力のもと住宅の明かりで暗い夜道をなくす活動や必要な街路灯の設置を要望します。また、地域の安全を守る基点となる交番についても関係機関に設置を要請します。

方向性	具体的な内容
① 犯罪を防ぐための見守り活動を推進する	«地域でできること» <ul style="list-style-type: none"> <li>● 防犯パトロールの継続実施</li> <li>● 登下校時の見守り活動の充実</li> <li>● 危険箇所のチェックと改善要請</li> </ul> «市への期待» <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 防犯対策の充実</li> <li>○ 指摘された危険箇所の改善</li> <li>○ 防犯カメラの設置</li> <li>○ 素早い、正確な防犯情報の提供</li> </ul>
② 危険な夜道を解消する	«地域でできること» <ul style="list-style-type: none"> <li>● 住宅門灯の夜間点灯を呼びかける</li> <li>● 街路灯を遮る樹木の伐採を呼びかける</li> <li>● 街路灯の設置要請</li> </ul> «市への期待» <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 街路灯の設置支援</li> </ul>
③ 地域の安全を守る環境整備	«地域でできること» <ul style="list-style-type: none"> <li>● 交番設置の要望活動</li> </ul> «市への期待» <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 交番設置に向けた関係機関への働きかけ</li> </ul>

重点的な取組 3-2 防災機能の強化・災害対策の充実

大規模な災害から自分や家族、地域住民の命を守るため、家庭や地域に必要な備蓄や避難場所・方法の確認、災害弱者への対応等を検討し、日頃から災害へ備えます。

方向性	具体的な内容
<p>① 災害（風水害、地震等）対策を検討する</p>	<p>《地域でできること》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 家庭内での備蓄の呼びかけ</li> <li>● 自治会等での備蓄品の検討、管理</li> <li>● 浸水等の危険箇所の把握と対策要請</li> </ul> <p>《市への期待》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ハザードマップの作成、更新、防災対策</li> <li>○ 夜間災害体験学習会の実施</li> </ul>
<p>② 避難場所や避難方法を周知、徹底する</p>	<p>《地域でできること》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 避難場所の周知</li> <li>● 避難方法、避難経路の確認や周知</li> <li>● 防災訓練の充実</li> <li>● 防災マップの作成、更新</li> <li>● 民間施設等との避難場所協定の検討</li> </ul> <p>《市への期待》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 避難場所の設置と管理</li> <li>○ 避難場所への下水道整備（小・中学校、南体育館）</li> <li>○ 避難場所への空調設備整備（夏季、熱中症対策）</li> <li>○ 避難場所への停電対策（ソーラー発電システムの設置等）</li> <li>○ 避難者の受入体制の確立</li> <li>○ 防災訓練の実施</li> </ul>
<p>③ 災害弱者対策を検討する</p>	<p>《地域でできること》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 災害弱者への支援の検討</li> </ul> <p>《市への期待》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 災害弱者の個人情報取扱いのルール化</li> </ul>

# 大相模地区 まちづくり会議提言書

令和元年(2019年)11月18日  
大相模地区まちづくり会議

～提言にあたって～

第5次総合振興計画策定及び都市計画マスタープラン改定にあたり、大相模地区では、委員21人で構成する地区まちづくり会議を開催し、令和元年7月から4回にわたり議論を重ねてまいりました。

地区まちづくり会議では、地区の将来に向け、現況や課題を整理し、今後の地区のまちづくりの方向性について意見交換を行い、ここに提言書としてまとめております。

住民にとって、この地区に住んでよかった、また越谷市に住んでよかったと思える、よりよいまちとなるよう、私たちの思いを込めたこの提言書を尊重いただき、今後、計画の策定及び改定を進めていただきますようお願い申し上げます。

令和元年11月18日

大相模地区まちづくり会議

会長 深井 晃

# 1 第5次越谷市総合振興計画における地区の将来像とまちづくりの目標

## (1) 大相模地区の将来像

ふれあい豊かな自然と歴史につつまれた  
安全で住みよい都市をめざして

## (2) 現況と課題

### 【現況】

大相模地区では、「大相模まつり」をはじめ、「不動橋こいのぼりフェスティバル」や「ひまわりフェスタ」等のイベントや、スポーツ・レクリエーションを通じて、活発に住民同士の交流を行っているとともに、地域での見守り活動や防犯パトロール等の活動にも取り組んでいます。

さらに、レイクタウンのまちびらきで、「越谷レイクタウン駅」が開業し、周辺に商業施設等が整備されたことにより、にぎわいみせ、活気があふれています。その一方で、地区には、農地や屋敷林等の自然が多く残っており、河川や用水等の水辺環境や地域内から見える富士山は地区の景観の大きな特徴となっています。

### 【課題】

レイクタウンの整備により人口が増加しているため、今後は、レイクタウンの住民を含めた新たな住民や若者との連携により、地区住民が一体となり、地域コミュニティの融合・結束をより一層図っていく必要があります。また、レイクタウン周辺の渋滞が多くなっていることから、幹線道路整備等の渋滞緩和の取組みを進めていく必要があります。さらに、今後高齢化が見込まれることから、高齢者等が安心して住み続けることのできる地域づくりが求められます。

地区は河川と用水に囲まれた地形であることから、水害をはじめとした災害に強いまちづくりに向け、行政とともに取組みを進めていくことが重要です。

また、地区内の自然環境や景観資源を保全・活用するために、地域資源を活用したイベントの充実や農地の保全を図っていく必要があります。

キーワード	魅力	課題
コミュニティ	◇ こいのぼりフェスティバル等の地域特有の行事による交流	◆ 新たな住民との交流が少ない ◆ 高齢化が進んでいる ◆ 地域内の団体同士の連携が不十分
安全・安心	◇ 地域での見守り活動や防犯パトロール等の取組み	◆ 渋滞が多い ◆ 水害対策が不十分
自然・歴史	◇ 河川や用水等の水辺環境 ◇ 屋敷林等の歴史的な自然資源	◆ 河川沿いの雑草による環境悪化 ◆ 耕作放棄地の増加

## (3) まちづくりの目標

目標1	地区住民・団体が一体となり、活発に交流・連携できる地域づくり
目標2	快適に暮らせる安全・安心な生活環境づくり
目標3	水と緑や古くからの歴史・文化を重視した魅力的なまちづくり

## 2 取組の体系

### 目標1 地区住民・団体が一体となり、活発に交流・連携できる地域づくり

#### 重点的な取組1-1 多世代の交流によるコミュニティの形成

##### 【方向性】

- ① 子どもから高齢者までの世代間における交流の場づくり
- ② 地域資源を活かした魅力的なイベントの実施
- ③ 地域活動の情報発信

#### 重点的な取組1-2 多様な団体の連携によるコミュニティの活性化

##### 【方向性】

- ① 学校と地区とのつながりの強化
- ② レイクタウンの新しい自治会との協力

## 目標2 快適に暮らせる安全・安心な生活環境づくり

### 重点的な取組2-1 人に優しく移動しやすい道路・交通環境の形成

【方向性】

- ① 人に優しい安全な歩行空間の整備
- ② レイクタウン周辺の渋滞の緩和
- ③ 公共交通網の整備
- ④ 自転車の安全とマナーの向上

### 重点的な取組2-2 災害に対応した安全・快適に過ごせる生活環境づくり

【方向性】

- ① 排水施設の整備
- ② 災害に強い地域づくり
- ③ 災害等に対応した公園の整備

### 重点的な取組2-3 犯罪等を未然に防ぐまちづくりの推進

【方向性】

- ① 防犯対策の推進（駅周辺や神社仏閣等）
- ② 安全な環境づくり

## 目標3 水と緑や古くからの歴史・文化を重視した魅力的なまちづくり

### 重点的な取組3-1 自然環境の保全や歴史・文化の伝承

【方向性】

- ① 皆で憩える水辺空間の活用や池の水質、屋敷林等の保全
- ② 遊歩道沿いへのトイレの設置
- ③ 歴史・文化の伝承

### 重点的な取組3-2 農地の有効活用

【方向性】

- ① 農地の保全と活用

## 3 取組内容

### 目標1 地区住民・団体が一体となり、活発に交流・連携できる地域づくり

#### 重点的な取組1-1 多世代の交流によるコミュニティの形成

子どもや若者等の新たなメンバーを地域に取り込むための仕組みをつくるとともに、世代を超えた交流により高齢者も安心して住み続けることのできるコミュニティを形成します。地域資源を活かしたイベントや情報発信により、地域住民の交流の機会づくりに取り組みます。

方向性	具体的な内容
① 子どもから高齢者までの世代間の交流の場づくり	<p>「地域でできること」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 若者の活動の場や機会づくり</li> <li>● スポーツや趣味による交流の場づくり</li> <li>● 自治会への加入促進</li> <li>● 多世代交流事業の検討</li> <li>● 高齢者への見守り活動の実施</li> </ul> <p>「市への期待」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自治会への加入促進や地域活動の支援</li> <li>○ 地区主催の行事・イベントの拡充</li> </ul>
② 地域資源を活かした魅力的なイベントの実施	<p>「地域でできること」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 不動橋こいのぼりフェスティバルやひまわりフェスタによる交流</li> <li>● 富士山や夕日等の景観資源を活かした写真・絵画イベントの開催</li> <li>● 地区住民が一体となるイベントの開催</li> </ul> <p>「市への期待」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ イベントを開催するための広い場所の確保</li> </ul>
③ 地域活動の情報発信	<p>「地域でできること」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 自治会報やコミ協カレンダーによる情報発信</li> <li>● 地域活動やイベントの周知</li> </ul> <p>「市への期待」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 広報紙等による地域情報の発信</li> </ul>

### 重点的な取組 1-2 多様な団体の連携によるコミュニティの活性化

学校や地域等の多様な団体の連携を密にし、地域活動の活性化と参加を促進します。また、レイクタウンの新しい自治会とも協力しながら、地域コミュニティの活性化を図ります。

方向性	具体的な内容
① 学校と地区とのつながりの強化	«地域でできること» <ul style="list-style-type: none"> <li>● 学校と地域の密な連携（行事の日程調整等）</li> <li>● 地区内3小・中学校の連携による行事への参加と周知</li> </ul> «市への期待» <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校をコミュニティの核施設として活用</li> <li>○ 学校設備の充実（高齢者等にも使いやすいトイレの改善等）</li> </ul>
② レイクタウンの新しい自治会との協力	«地域でできること» <ul style="list-style-type: none"> <li>● レイクタウンにおける自治会の設立</li> <li>● 新設される自治会に対する地域活動への参加の働きかけ</li> </ul>

### 目標 2 快適に暮らせる安全・安心な生活環境づくり

#### 重点的な取組 2-1 人に優しく移動しやすい道路・交通環境の形成

渋滞緩和のための幹線道路整備や、利用しやすいバス路線を検討するとともに、免許証返納者等への支援サービスの充実が必要です。

自転車利用マナーの向上に向け、学校での講習実施への働きかけやイベント等を活用した啓発活動を推進します。

方向性	具体的な内容
① 人に優しい安全な歩行空間の整備	«市への期待» <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 側溝への蓋の設置</li> <li>○ 幹線道路沿いの草刈りによる見通しの確保</li> </ul>
② レイクタウン周辺の渋滞の緩和	«市への期待» <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 東埼玉道路の早期開通</li> <li>○ 吉川橋の早期改修</li> </ul>
③ 公共交通網の整備	«市への期待» <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 利用しやすいバス路線（循環バス等）の検討</li> <li>○ 免許証返納者等への支援サービスの検討</li> </ul>
④ 自転車の安全とマナーの向上	«地域でできること» <ul style="list-style-type: none"> <li>● 学校での講習実施への働きかけ</li> <li>● 地域のイベントを利用した啓発活動の実施</li> </ul> «市への期待» <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 啓発活動の実施</li> </ul>



### 重点的な取組 2-2 災害に対応した安全・快適に過ごせる生活環境づくり

快適な生活環境の向上に向けて、道路側溝の清掃活動に取り組むとともに、歩行者の安全性の確保のために側溝の整備が必要です。

また、災害に強い地域づくりに向けて、地域における防災訓練の参加促進や行政と一体となって避難場所の周知に取り組むとともに、地域の防災拠点となる公園の整備が必要です。

方向性	具体的な内容
① 排水施設の整備	«地域でできること» ● 雨水による被害を想定した清掃活動の実施 «市への期待» ○ 側溝の整備
② 災害に強い地域づくり	«地域でできること» ● 避難場所の情報発信 ● 自治会等の防災訓練への参加促進 ● 中学校と連携した災害への取組 «市への期待» ○ 避難場所の周知
③ 災害等に対応した公園の整備	«市への期待» ○ (仮称) 大成町公園の整備

### 重点的な取組 2-3 犯罪等を未然に防ぐまちづくりの推進

地域における見守り活動や防犯活動等、行政と連携した防犯対策を強化するとともに、環境美化や空き家対策等安全な環境づくりに取り組みます。

方向性	具体的な内容
① 防犯対策の推進（駅周辺や神社仏閣等）	«地域でできること» ● 多くの住民の目線による子どもたちの見守り活動（小学校の登下校時のパトロール等） ● 防犯活動への参加促進 «市への期待» ○ 防犯活動への支援（着衣ベストの支給、センサーライトの配布等） ○ 街灯や防犯カメラ等の設置
② 安全な環境づくり	«地域でできること» ● ごみ拾い等の環境美化活動 «市への期待» ○ 空き家対策 ○ 河川沿いの草刈りによる見通しの確保

### 目標 3 水と緑や古くからの 歴史・文化を重視した魅力的なまちづくり

#### 重点的な取組 3-1 自然環境の保全や歴史・文化の伝承

レイクタウンの水辺空間を活用したイベント等に地域主体で取り組むほか、屋敷林等の自然環境の保全を推進します。

また、地区の歴史・文化に触れられる機会や場をつくり、文化財の維持・保全に努めます。

方向性	具体的な内容
① 皆で憩える水辺空間の活用や池の水質、屋敷林等の保全	«地域でできること» ● レイクタウン湖畔の森公園のホタルイベントの実施 ● 大相模調節池や元荒川等の水辺空間の活用 «市への期待» ○ 屋敷林等保全のための助成金交付 ○ 地域の水と緑を活かした親水空間の整備 ○ 大相模調節池の水質保全
② 遊歩道沿いへのトイレの設置	«市への期待» ○ トイレの設置
③ 歴史・文化の伝承	«地域でできること» ● 地区の歴史・文化に触れられる機会の創出 ● 地区の伝統行事の継続 «市への期待» ○ 文化財の維持・保全への支援

#### 重点的な取組 3-2 農地の有効活用

地域で農地や屋敷林の管理や耕作放棄地の有効活用について検討します。

方向性	具体的な内容
① 農地の保全と活用	«地域でできること» ● 農地・屋敷林の管理 «市への期待» ○ 耕作放棄地対策や農地の保全と有効活用 ○ 屋敷林等緑を守るための支援



# 大 沢 地 区 ま ち づ くり 会 議 提 言 書

～提言にあたって～

第5次総合振興計画策定及び都市計画マスタープラン改定にあたり、大沢地区では、委員21人で構成する地区まちづくり会議を開催し、令和元年7月から4回にわたり議論を重ねてまいりました。

地区まちづくり会議では、地区の将来に向け、現況や課題を整理し、今後の地区のまちづくりの方向性について意見交換を行い、ここに提言書としてまとめております。

住民にとって、この地区に住んでよかった、また越谷市に住んでよかったと思える、よりよいまちとなるよう、私たちの思いを込めたこの提言書を尊重いただき、今後、計画の策定及び改定を進めていただきますようお願い申し上げます。

令和元年11月18日

大沢地区まちづくり会議

会長 深 野 弘

令和元年(2019年)11月18日  
大沢地区まちづくり会議

# 1 第5次越谷市総合振興計画における地区の将来像とまちづくりの目標

## (1) 大沢地区の将来像

活力とふれあい 歴史を<sup>とうと</sup>尊び 新たな大沢へ

## (2) 現況と課題

### 【現況】

古きよき歴史を継承する大沢地区では、キャンベルタウン公園を始め、地区内の公園を活用したイベントや、大沢ふれあいフェスタ、地区体育祭等、地区のコミュニティ活動が行われています。

安全・安心に暮らせるまちづくりとして、防災面については、大沢地区防災マップの全戸配布や、防災訓練の実施など、災害に備えた取組みを行っています。防犯面では、各自治会やコミ協等によるパトロールや子どもの見守り活動など、地域の目を行き渡らせる犯罪防止に取り組んでいます。

地区内を流れる逆川沿いは、桜並木や遊歩道が整備され人々が憩える親水空間となっています。北越谷駅東口は、駅周辺が整備され、各方面へ向かうバスが運行するなど、生活しやすい環境にあります。

### 【課題】

シンボリック存在のキャンベルタウン公園をコミュニティの活動拠点として活用するとともに、体育館に複合的な機能を持たせることで、新たな交流の場が創出され、魅力あるまちづくりとコミュニティの更なる活性化が期待されます。

また、安全・安心に暮らせるまちづくりを進めていくため、地区のコミュニティを中心とした、防災・防犯対策の強化が求められます。

地区内の高齢化が見込まれているため、逆川の遊歩道や公園等の自然資源を地域住民のふれあいの場や憩いの場、さらには健康づくりの場として活用する取り組みを進めていくとともに、快適に利用するための維持管理や環境整備の充実が望まれます。

暮らしやすいまちづくりを推進していくため、北越谷駅東口を中心とした交通網の充実や歩行者が安全に歩ける道路環境の整備も課題となっています。

キーワード	魅力	課題
コミュニティ・交流	◇ キャンベルタウン公園を始め、地区内に多くの公園がある ◇ 八坂の祭礼などの行事	◆ キャンベルタウン公園の活用 ◆ 地区をあげての大規模な祭り（大沢まつり等）の開催
防災・防犯／安全・安心	◇ 大きな災害が少ない ◇ 防災・防犯活動が活発	◆ 防災倉庫の無い自治会の存在 ◆ 大雨時に浸水する地域がある
自然・歴史	◇ 逆川の桜並木、遊歩道 ◇ 香取神社などの歴史資源 ◇ 歴史的な市の中心（宿場町における本陣）	◆ 逆川の遊歩道の維持管理 ◆ 歴史、伝統の継承・活用
暮らしの基盤	◇ 北越谷駅東口を中心とした交通網	◆ 回遊できるまちづくり

## (3) まちづくりの目標

目標 1	地区独自のコミュニティを育て、支えあう環境・交流の場づくり
目標 2	防災・防犯対策による安全・安心に暮らせるまちづくり
目標 3	大沢の歴史を継承し、生きがいを感じて健康に暮らせるまちづくり
目標 4	便利で暮らしやすいまちにするための基盤づくり

## 2 取組の体系

### 目標 1 地区独自のコミュニティを育て、支えあう環境・交流の場づくり

#### 重点的な取組 1-1 コミュニティの活性化

【方向性】

- ① 施設等を活用した地域活動
- ② 自治会への参加促進と自治会活動の活性化

#### 重点的な取組 1-2 環境・ゴミ問題への対応

【方向性】

- ① 環境に対するマナー向上の推進

#### 重点的な取組 1-3 公園の管理と活用

【方向性】

- ① キャンベルタウン公園の活用方法の検討
- ② 公園の機能充実・維持管理
- ③ 公園の利用促進

#### 重点的な取組 1-4 親水空間の整備

【方向性】

- ① 河川環境の向上
- ② 川の魅力の向上

### 目標 2 防災・防犯対策による安全・安心に暮らせるまちづくり

#### 重点的な取組 2-1 防災環境の整備

【方向性】

- ① みんなでつくる防災環境の向上

#### 重点的な取組 2-2 防犯・見守り活動の推進

【方向性】

- ① みんなでつくる防犯環境の向上

#### 重点的な取組 2-3 交通安全の推進

【方向性】

- ① 自転車マナー啓発と安全対策

### 目標3 大沢の歴史を継承し、生きがいを感じて健康に暮らせるまちづくり

#### 重点的な取組3-1 大沢の歴史の継承

【方向性】

- ① 大沢の歴史を守り、伝える仕組みづくり

#### 重点的な取組3-2 生きがいを持つことができる環境づくり

【方向性】

- ① 趣味等活動するための場づくり

#### 重点的な取組3-3 健康づくりの推進

【方向性】

- ① 健康づくりに向けた活動の推進

### 目標4 便利で暮らしやすいまちにするための基盤づくり

#### 重点的な取組4-1 北越谷駅東口周辺の活性化

【方向性】

- ① 北越谷駅東口周辺の環境整備の促進
- ② 商店街の活性化

#### 重点的な取組4-2 道路・交通の整備

【方向性】

- ① 道路環境の改善
- ② 公共交通の充実

#### 重点的な取組4-3 各行政施策等における区域の見直し

【方向性】

- ① 地域コミュニティを意識した区域設定の見直し

## 3 取組内容

### 目標1 地区独自のコミュニティを育て、支えあう環境・交流の場づくり

#### 重点的な取組1-1 コミュニティの活性化

キャンベルタウン公園や新たに整備する複合的施設の体育館を地区のコミュニティの活動拠点として活用することが期待されます。さらに、多くの人たちが利用する体育館とすることで地区の活性化につながることが望めます。また、これまで以上に活発なコミュニティ活動を進めるとともに、その基礎となる自治会への加入促進と自治会活動の活発化を推進します。

方向性	具体的な内容
① 施設等を活用した地域活動	«地域でできること» <ul style="list-style-type: none"> <li>● 既存の自治会館の利活用</li> <li>● 新たなコミュニティ活動拠点を活かした地域の活性化</li> <li>● 大沢まつりの検討</li> </ul> «市への期待» <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 複合的施設としての体育館整備</li> </ul>
② 自治会への参加促進と自治会活動の活性化	«地域でできること» <ul style="list-style-type: none"> <li>● 自治会への加入推進</li> <li>● 各種イベント等への参加推進</li> </ul> «市への期待» <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自治会活動への支援</li> </ul>

#### 重点的な取組1-2 環境・ゴミ問題への対応

ゴミ問題は依然として地区の課題となっており、ゴミ出しルールやゴミ集積所の利用マナーの徹底を図ります。また、カラス対策・鳥のフン対策など、生活環境向上のための取り組みを推進します。

方向性	具体的な内容
① 環境に対するマナー向上の推進	«地域でできること» <ul style="list-style-type: none"> <li>● 生活マナーの向上</li> <li>● 転入者へのゴミ出しルール等の周知徹底</li> </ul> «市への期待» <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 転入者へのゴミ出しルール等の周知徹底</li> <li>○ 不法投棄対策</li> </ul>

### 重点的な取組 1-3 公園の管理と活用

キャンベルタウン公園を始めとした地区内の公園を活用したコミュニティ活動が行われており、より活用しやすい環境とするため、樹木剪定などの維持管理や公園施設の機能充実が求められます。また、地域によるルールを守った公園利用を行うとともに、公園の清掃等、維持管理に努めます。

方向性	具体的な内容
① キャンベルタウン公園の活用方法の検討	«地域でできること» ● キャンベルタウン公園での草花を育てる活動の継続 ● ペットの飼育マナー向上にむけた住民パトロールの実施 «市への期待» ○ 公園の維持管理 ○ 利用方法の見直し協議
② 公園の機能充実・維持管理	«地域でできること» ● 公園清掃活動への参加 ● 公園管理に対する行政との協議 «市への期待» ○ 公園の遊具や健康器具の充実と維持管理 ○ 草刈や樹木の適切な維持管理
③ 公園の利用促進	«地域でできること» ● ルールを守った公園利用 ● 各種イベント等での利用 «市への期待» ○ 公園施設等の点検

### 重点的な取組 1-4 親水空間の整備

河川及び遊歩道は、地区住民がウォーキングを行うなど、憩いの場や健康づくりの場として利用しています。引き続き、良好な親水空間を維持していくため、地域による河川清掃等の取り組みを推進します。

方向性	具体的な内容
① 河川環境の向上	«地域でできること» ● 河川清掃への参加 ● ごみを捨てないモラルの向上 «市への期待» ○ 草刈や樹木の適正な維持管理 ○ 不法投棄物の収集
② 川の魅力の向上	«地域でできること» ● ウォーキング等での利用 «市への期待» ○ 逆川の水辺の創出

## 目標 2 防災・防犯対策による安全・安心に暮らせるまちづくり

### 重点的な取組 2-1 防災環境の整備

近年、台風やゲリラ豪雨による被害が問題となっており、これらの自然災害等に備えるため、防災訓練を行っています。今後も引き続き、防災訓練を実施するとともに、各家庭における備えの充実に努め、災害に対する備えや体制づくりに努めます。

方向性	具体的な内容
① みんなでつくる防災環境の向上	«地域でできること» ● 各家庭における備蓄 ● 自治会による備品の充実 ● 各自治会における防災リーダーの育成 ● 防災マップを活用した防災への備え ● 自治会による実際の災害時を想定した防災訓練の実施 «市への期待» ○ 地域と行政が一体となった防災訓練の実施 ○ 自治会や民生委員などの各組織が情報共有できる仕組みづくり

### 重点的な取組 2-2 防犯・見守り活動の推進

地区住民が安心して暮らせるよう、防犯活動の充実に努めています。多様化する犯罪に対応していくためにも、地域での自主的なパトロール、見守り活動を推進するとともに、市や警察等との連携による防犯対策の強化が求められます。

方向性	具体的な内容
① みんなでつくる防犯環境の向上	«地域でできること» ● 防犯・見守り活動 ● あいさつ活動による地域の連携強化 ● 自治会設置の照明灯の維持管理 ● 青色パトロールの継続・強化 «市への期待» ○ 防犯対策の充実 ○ 通学路やキャンベルタウン公園への防犯カメラの設置 ○ 街路灯の整備

### 重点的な取組 2-3 交通安全の推進

自転車と歩行者の事故が発生するなど、自転車を運転する人のマナーが問題となっています。交通ルールの周知や教育を徹底するとともに、通行しやすい交通環境の整備が求められます。

方向性	具体的な内容
① 自転車マナー啓発と安全対策	«地域でできること» ● 交通ルール、自転車利用マナー向上のための教育実施 «市への期待» ○ 自転車通行帯の設置などによる安全確保

### 目標 3 大沢の歴史を継承し、生きがいを感じて健康に暮らせるまちづくり

#### 重点的な取組 3-1 大沢の歴史の継承

本地区は、宿場町における本陣があるなど歴史ある地区であり、この歴史的な資源を継承していく必要があります。また、八坂の祭礼など代表的な祭りを通じて、歴史を学べるような機会を設ける取組みを推進します。

方向性	具体的な内容
① 大沢の歴史を守り、伝える仕組みづくり	«地域でできること» ● 八坂の祭礼、歴史を知り、伝える活動の実施 ● 大沢地区の歴史の勉強会等の開催

#### 重点的な取組 3-2 生きがいを持つことができる環境づくり

生涯にわたり生きがいを持って暮らすためには、市と地域が連携を図り、趣味の活動をはじめとした生きがいづくりの場の充実を図ることが重要です。そのためにも、生きがいづくりに資するような各種事業を推進します。

方向性	具体的な内容
① 趣味等活動するための場づくり	«地域でできること» ● 生きがいにつながる、地域でのボランティア活動参加への働き掛け ● 趣味の活動など自主企画事業の推進 ● HPを活用した情報発信 «市への期待» ○ 地区センター等活動の場づくり

#### 重点的な取組 3-3 健康づくりの推進

高齢者を対象とした健康づくりとして、ラジオ体操の実施や、スポーツ・レクリエーション活動を行っています。引き続き、健康づくりに向けた活動を推進するとともに、市による、イベントの情報提供や支援が望まれます。

方向性	具体的な内容
① 健康づくりに向けた活動の推進	«地域でできること» ● ラジオ体操や定期的な運動 ● 高齢者を対象としたイベントの開催 ● 市が行う事業への協力（食生活改善推進員等ボランティア活動） «市への期待» ○ 行政で行うイベントの情報提供 ○ 高齢者生活相談の拡充 ○ 公園などへの高齢者向け健康器具の充実 ○ スポーツイベントへの支援 ○ 複合的施設としての体育館整備

### 目標 4 便利で暮らしやすいまちにするための基盤づくり

#### 重点的な取組 4-1 北越谷駅東口周辺の活性化

北越谷駅東口は、駅周辺が整備され、生活しやすい環境にあります。地区では、花壇を設置するなど、快適な環境づくりに努めています。また、北越谷駅東口の日光道中（日光街道）沿いにおける商店街については、買い物しやすい空間づくりなどの環境整備が必要です。

方向性	具体的な内容
① 北越谷駅東口周辺の環境整備の促進	«地域でできること» ● 快適な環境づくり（花壇の設置など） «市への期待» ○ 北越谷駅東口周辺の環境改善 «地域でできること» ● 地元商店の利用促進 «市への期待» ○ 日光道中の歩行環境の整備 ○ 大沢橋わきの公園整備 ○ 商店街の活性化に向けた支援
② 商店街の活性化	

#### 重点的な取組 4-2 道路・交通の整備

生活の利便性を高めるため、道路交通体系の整備が重要です。バスについては、北越谷駅東口より各方面に運行されていますが、さらに、公共施設を結ぶバス網の充実が望まれます。

方向性	具体的な内容
① 道路環境の改善	«地域でできること» ● 危険な歩行空間の点検 «市への期待» ○ 東小林大沢線の整備促進 «地域でできること» ● バスの利用促進 «市への期待» ○ バス利用環境の向上
② 公共交通の充実	

#### 重点的な取組 4-3 各行政施策等における区域の見直し

各行政施策等における区域設定の違いにより、地域コミュニティの一体化が一部図られていない状況にあります。地区の住民が子育てや福祉等の連携を図り、暮らしやすいまちをつくるため、各行政施策等における区域設定を見直す必要があります。

方向性	具体的な内容
① 地域コミュニティを意識した区域設定の見直し	«地域でできること» ● 区域設定の要望や見直しへの協力 «市への期待» ○ 各行政施策等における区域設定の見直し





# 北越谷地区 まちづくり会議提言書

令和元年(2019年)11月18日  
北越谷地区まちづくり会議

～提言にあたって～

第5次総合振興計画策定及び都市計画マスタープラン改定にあたり、北越谷地区では、委員25人で構成する地区まちづくり会議を開催し、令和元年7月から3回にわたり議論を重ねてまいりました。

地区まちづくり会議では、地区の将来に向け、現況や課題を整理し、今後の地区のまちづくりの方向性について意見交換を行い、ここに提言書としてまとめております。

住民にとって、この地区に住んでよかった、また越谷市に住んでよかったと思える、よりよいまちとなるよう、私たちの思いを込めたこの提言書を尊重いただき、今後、計画の策定及び改定を進めていただきますようお願い申し上げます。

令和元年11月18日

北越谷地区まちづくり会議

会長 小坂橋 啓 彰

# 1 第5次越谷市総合振興計画における地区の将来像とまちづくりの目標

## (1) 北越谷地区の将来像

愛してますか北越谷、心ふれあうまちづくり

## (2) 現況と課題

### 【現況】

北越谷地区は、元気な高齢者が多く、住民同士のまとまりがある地区です。防災や見守りに関する地域活動をはじめ、多くの交流活動に取り組んでいます。

地区内には、元荒川や桜並木など美しく貴重な環境資源を有しているほか、地区全体としてきれいな街並みを形成しており、特に北越谷駅前通りは、電柱地中化などにより良好な景観を有する空間となっています。

北越谷駅を中心に交通・生活利便性が高い地域であり、駅西口のさくら広場は、子ども達の遊び場や住民の活動の場として親しまれています。

### 【課題】

地域活動が盛んである一方で、高齢者世代と子どもや学生などの若い世代との交流が希薄となっています。様々な世代が地域活動に参加しやすい仕組みづくりを検討するとともに、広場や公園などの利用価値を高め、交流機会を増やしていくことが必要です。

防災面については、元荒川の氾濫や、地区で起こる道路冠水など、水害への危機感が強くなっており、地区全体として対策に取り組む必要があります。

北越谷駅周辺の商店街については、地区住民の利用だけでなく、文教大学生を呼び込むなど、さらなる活性化を図る必要があります。

キーワード	魅 力	課 題
コミュニティ	◇ 元気な高齢者が多い ◇ 地区のまとまりがある	◆ 地区の高齢化と子ども・若者の交流機会の希薄化 ◆ 北越谷第五公園のさらなる活用
安全・安心	◇ 防災や見守りに関する地域活動が活発	◆ 水害や道路の冠水対策
自然景観	◇ 元荒川や桜並木などの環境資源がある ◇ 街並みがきれい	◆ 桜並木の維持・管理 ◆ 地域内のごみ問題への対応
北越谷駅周辺のにぎわい	◇ にぎわいのあるさくら広場	◆ 商店街の活性化 ◆ 駅周辺利用者のマナーが悪い
交通環境	◇ 北越谷駅を中心に、交通・生活の利便性が高い	◆ 駅周辺の交通渋滞 ◆ 道路が狭い（歩行者の安全性確保）

## (3) まちづくりの目標

目標 1	子どもからお年寄りまで、活気とコミュニケーションの絶えないまちづくり
目標 2	防災対策や防犯活動に取り組み、安心して生活できるまちづくり
目標 3	元荒川と桜並木を中心とする、自然を身近に感じられるまちづくり
目標 4	さくら広場や商店街など北越谷駅周辺を活用した、にぎわいづくり
目標 5	歩行者にも配慮した交通環境整備による、快適な生活環境づくり

## 2 取組の体系

### 目標 1 子どもからお年寄りまで、活気とコミュニケーションの絶えないまちづくり

#### 重点的な取組 1-1 5~10年先を見据えたコミュニティの組織づくり

【方向性】

- ① 世代間交流の充実を図る
- ② 地域で高齢者を見守る
- ③ 北越谷地区センター・公民館の利用環境の充実を図る

#### 重点的な取組 1-2 子どもが利用しやすい公園をはじめ、多世代交流する広場づくり

【方向性】

- ① 地域住民にとって安全・安心で使いやすい公園づくり
- ② 北越谷第五公園の活用を図る

### 目標 2 防災対策や防犯活動に取り組み、安心して生活できるまちづくり

#### 重点的な取組 2-1 防災対策に取り組む

【方向性】

- ① 水害対策の充実を図る
- ② 多世代連携による防災訓練を実施する

#### 重点的な取組 2-2 防犯対策を強化する

【方向性】

- ① 外灯や防犯カメラの設置を推進する

### 目標3 元荒川と桜並木を中心とする、自然を身近に感じられるまちづくり

#### 重点的な取組3-1 自然を身近に感じられる空間の創出

【方向性】

- ① 桜並木など貴重な環境資源の維持・管理を行う

#### 重点的な取組3-2 環境美化活動の推進

【方向性】

- ① 地域をきれいにする環境美化活動を推進する

### 目標4 さくら広場や商店街など北越谷駅周辺を活用した、にぎわいづくり

#### 重点的な取組4-1 さくら広場の利用しやすい環境づくり

【方向性】

- ① さくら広場のさらなる活用を図る

#### 重点的な取組4-2 駅前商店の活性化

【方向性】

- ① 魅力的な商店街づくり

#### 重点的な取組4-3 放置自転車対策の推進

【方向性】

- ① 放置自転車をなくす

### 目標5 歩行者にも配慮した交通環境整備による、快適な生活環境づくり

#### 重点的な取組5-1 渋滞の解消と歩行者の安全性の向上

【方向性】

- ① 地区内の渋滞を解消する  
② 歩行者にとって安全な道路環境づくり

## 3 取組内容

### 目標1 子どもからお年寄りまで、活気とコミュニケーションの絶えないまちづくり

#### 重点的な取組1-1 5～10年先を見据えたコミュニティの組織づくり

若い世代から高齢者世代まで多様な世代の人々が地域コミュニティに参加できる仕組みづくりなど、地域コミュニティ活動の活性化を図ります。また、住民の高齢化に伴い、地域全体で高齢者を見守ることができる環境整備に努めます。

方向性	具体的な内容
① 世代間交流の充実を図る	«地域でできること» ○ 地区の活動に参加するきっかけづくり ○ 北越谷地区センター・公民館を活動拠点にする ○ 子どもが参加しやすい行事の実施及び普及活動 ○ 地域人材の情報収集及び活用を図る（人材バンク） ○ 地区と文教大学との連携強化を図る «市への期待» ○ 市職員の地域活動への参加促進 ○ 地域活動の支援・補助の手続きの簡略化
② 地域で高齢者を見守る	«地域でできること» ● 交流の場づくりとそのPR ● 高齢者サロンの拡充 ● 会食サービスの拡充
③ 北越谷地区センター・公民館の利用環境の充実を図る	«市への期待» ○ 北越谷地区センター・公民館の利用環境向上 ○ 北越谷地区センター・公民館の大型化

#### 重点的な取組1-2 子どもが利用しやすい公園をはじめ、多世代交流する広場づくり

地区内の公園が、子どもたちをはじめ地域におけるコミュニティの場として安心して活用できるよう、公園の適切な維持管理に努めます。また、北越谷第五公園については、子どもの遊び場や交流機会創出のため、さらなる有効活用の検討を行います。

方向性	具体的な内容
① 地域住民にとって安全・安心で使いやすい公園づくり	«地域でできること» ● 公園の低木の剪定や草むしり ● 季節に合わせた花植えの実施 ● 子どもたちが自由に遊べる場づくり «市への期待» ○ 高木・大木の管理（剪定・除去・植替え等） ○ 防犯の観点による植樹
② 北越谷第五公園の活用を図る	«地域でできること» ● 北越谷第五公園の有効活用 «市への期待» ○ 北越谷第五公園野球場の無料開放

## 目標 2 防災対策や防犯活動に取り組み、安心して生活できるまちづくり

### 重点的な取組 2-1 防災対策に取り組む

地区全体で側溝のこまめな点検を行うなど、豪雨による水害対策を図るとともに、自治会やコミ協をはじめとする地区の各団体が連携し、多世代参加型の防災訓練を開催するなど、災害に強いまちづくりを進めていきます。

方向性	具体的な内容
① 水害対策の充実を図る	«地域でできること» ● 側溝の取り扱いに関する注意点や清掃方法の周知 «市への期待» ○ 側溝の清掃等道路における水害対策
② 多世代連携による防災訓練を実施する	«地域でできること» ● 自治会における防災訓練の周知 ● 小学校等と連携した地区全体の防災訓練

### 重点的な取組 2-2 防犯対策を強化する

道路や住宅への外灯や防犯カメラの設置を進め、夜道を安心して歩けるまちを目指します。

方向性	具体的な内容
① 外灯や防犯カメラの設置を推進する	«地域でできること» ● 防犯灯の設置改善が必要な箇所の特 ● 各戸への門灯設置を呼び掛ける «市への期待» ○ 暗い道への道路照明灯の充実 ○ 住宅への門灯設置の補助 ○ 北越谷駅前等への防犯カメラの設置

## 目標 3 元荒川と桜並木を中心とする、自然を身近に感じられるまちづくり

### 重点的な取組 3-1 自然を身近に感じられる空間の創出

地域と行政の協働により、元荒川遊歩道と桜並木の適切な維持・管理に努めます。

方向性	具体的な内容
① 桜並木など貴重な環境資源の維持・管理を行う	«地域でできること» ● 除草やゴミ拾いなど地域における元荒川遊歩道の保全活動 ● 桜並木の維持 «市への期待» ○ 周辺道路整備と合わせた桜並木の保存と管理支援

### 重点的な取組 3-2 環境美化活動の推進

地域での清掃活動を行うとともに、ゴミ捨て場の適切な維持・管理とゴミ捨てルールの周知徹底により、環境美化活動を推進します。

方向性	具体的な内容
① 地域をきれいにする環境美化活動を推進する	«地域でできること» ● 地域におけるクリーン作戦の実施 ● ゴミ捨て場の適切な維持・管理 «市への期待» ○ クリーン作戦の支援 ○ 転入時等のゴミのルール説明の徹底 ○ 外国語版も含めたルールについてのチラシ配布 ○ 喫煙場所以外での禁煙の取組推進

目標 4 さくら広場や商店街など北越谷駅周辺を活用した、にぎわいづくり

重点的な取組 4-1 さくら広場の利用しやすい環境づくり

だれもが気持ちよく利用できるさくら広場の環境づくりを進めるとともに、北越谷駅周辺の活性化を図るため、さくら広場のさらなる活用を図ります。

方向性	具体的な内容
① さくら広場のさらなる活用を図る	«地域でできること» ● 地域でできるさくら広場の維持・管理 «市への期待» ○ さくら広場内での禁酒、禁煙など気持ちよく利用できる環境づくり ○ 損傷箇所補修等の安全に利用しやすい環境整備 ○ さくら広場の活用支援

重点的な取組 4-2 駅前商店の活性化

利用者ニーズの把握や空き店舗の活用など、さらなる商店街活性化に努めます。

方向性	具体的な内容
① 魅力的な商店街づくり	«地域でできること» ● 商店街のイベント等のPR ● 地域における利用者ニーズ調査 «市への期待» ○ 創業支援などによる空き店舗の活用 ○ 利用者ニーズ把握の支援

重点的な取組 4-3 放置自転車対策の推進

北越谷駅前の放置自転車対策の継続・強化を図ります。

方向性	具体的な内容
① 放置自転車をなくす	«地域でできること» ● 駅前での駐輪や危険な走行のパトロールを警察に依頼 ● 駅前への駐輪禁止の明示やパトロール体制の強化 «市への期待» ○ 行政における放置自転車対策

目標 5 歩行者にも配慮した交通環境整備による、快適な生活環境づくり

重点的な取組 5-1 渋滞の解消と歩行者の安全性の向上

幹線道路の渋滞解消や生活道路の安全性向上に向け、ハード面・ソフト面両方からの対策の必要性を地区全体で確認し、要望を継続します。

方向性	具体的な内容
① 地区内の渋滞を解消する	«地域でできること» ● 横断歩道整備など地区としての要望活動 «市への期待» ○ 地区における要望活動の支援 ○ 神明橋及び出津橋付近の交通課題への対応
② 歩行者にとって安全な道路環境づくり	«地域でできること» ● 通学路の見守り隊の充実 «市への期待» ○ 交通危険箇所の改善



# 越ヶ谷地区 まちづくり会議提言書

～提言にあたって～

第5次総合振興計画策定及び都市計画マスタープラン改定にあたり、越ヶ谷地区では、委員18人で構成する地区まちづくり会議を開催し、令和元年7月から4回にわたり議論を重ねてまいりました。

地区まちづくり会議では、地区の将来に向け、現況や課題を整理し、今後の地区のまちづくりの方向性について意見交換を行い、ここに提言書としてまとめております。

住民にとって、この地区に住んでよかった、また越谷市に住んでよかったと思える、よりよいまちとなるよう、私たちの思いを込めたこの提言書を尊重いただき、今後、計画の策定及び改定を進めていただきますようお願い申し上げます。

令和元年11月18日

越ヶ谷地区まちづくり会議

会長 **大 沢 昌太郎**

令和元年(2019年)11月18日  
越ヶ谷地区まちづくり会議

# 1 第5次越谷市総合振興計画における地区の将来像とまちづくりの目標

## (1) 越ヶ谷地区の将来像

活力ある中心市街地の形成と自然、歴史、文化の  
継承による魅力あるまちづくり

## (2) 現況と課題

### 【現況】

越ヶ谷地区は、越谷駅や越谷市役所、中央市民会館など市内における主要な公共施設が多く集約されており、越谷市の中枢としての機能を果たしています。さらに、越谷駅の再開発により駅前環境が整備されたことで、利便性の向上や地域の活性化に貢献しています。

一方で、越ヶ谷秋まつりや日光道中（日光街道）沿いのまち並みなどは、地区の伝統ある歴史・文化であり、まつりの活性化や日光道中沿いの景観の整備に取り組み、次の世代に継承していくとともに、歴史・文化資源を活かした観光地としての魅力づくりに取り組んでいます。

また、地区に流れる元荒川の水辺環境や久伊豆神社の緑などの豊かな自然環境は、まちなかにある貴重な財産として市民に親しまれています。

### 【課題】

日光道中沿いの商店街には、蔵造りの建物などの歴史的なまち並みがある一方で、空き店舗が目立つなど、商店街の活性化が課題となっております。

地区内は、近年マンションなどが増え、住民同士での交流は少なく、自治会の加入者も減少していることから、ふれあい・交流機会を増やし、信頼し合える地域コミュニティを形成していくことが求められています。

また、近年大規模な震災が各地で発生している中、本地区においても災害が起きた時の被害を最小限に食い止めるための防災活動の充実が求められます。地区内には街路灯が少なく、治安上の不安もあることから、防犯面での対策も課題となっております。

キーワード	魅力	課題
にぎわい	◇ 都市機能の充実 (市役所や多くの公共施設がある)	◆ 再開発後の越谷駅前の活用 ◆ 商店街活性化の実現
歴史・文化	◇ 豊富な歴史資源 (日光道中や越ヶ谷秋まつりなど)	◆ 歴史資源の活用・PR ◆ まつり等のイベント参加者の減少
コミュニティ	◇ サークル・グループ活動が活発	◆ 自治会役員の高齢化 ◆ 自治会や子ども会入会者の減少 ◆ 自由に遊べる公園の減少 (遊具撤去、ボール遊び禁止などによる)
安全・安心	◇ 防犯・防災における積極的な取組	◆ 街灯の不足 ◆ 避難場所の周知不足
自然環境	◇ 元荒川や葛西用水における豊かな生態系 ◇ 整備された遊歩道や水辺	◆ 街路樹の落葉対策

## (3) まちづくりの目標

目標 1	越谷の顔として魅力と活力のあるまちづくり
目標 2	伝統ある歴史・文化をまちの魅力に繋げるまちづくり
目標 3	子どもから高齢者まで、多世代が交流するコミュニティづくり
目標 4	誰もが安全・安心に暮らすことができる環境づくり
目標 5	まちなかの豊かな自然環境を保全・活用したまちづくり

## 2 取組の体系

### 目標 1 越谷の顔として魅力と活力のあるまちづくり

#### 重点的な取組 1-1 活気のある商店街をつくる

【方向性】

- ① 越谷駅周辺及び日光道中沿いの商店街の活性化
- ② ゴミのない環境づくり

#### 重点的な取組 1-2 魅力ある越谷駅前をつくる

【方向性】

- ① 活力と賑わいのある越谷駅前環境の整備

### 目標 2 伝統ある歴史・文化をまちの魅力に繋げるまちづくり

#### 重点的な取組 2-1 越ヶ谷秋まつりを盛り上げる

【方向性】

- ① まつりやイベント、行事の活性化

#### 重点的な取組 2-2 歴史資源の活用により越ヶ谷地区ならではの魅力をつくる

【方向性】

- ① 歴史資源の有効活用



### 目標3 子どもから高齢者まで、多世代が交流するコミュニティづくり

#### 重点的な取組3-1 住民同士のつながりを深める

【方向性】

- ① 持続可能な自治会の運営
- ② コミュニティ組織間の連携

#### 重点的な取組3-2 地域で支えあう環境をつくる

【方向性】

- ① 高齢者の暮らしの充実
- ② 子育て環境の整備・充実

### 目標4 誰もが安全・安心に暮らすことができる環境づくり

#### 重点的な取組4-1 防災・防犯面の安全性を確保する

【方向性】

- ① 防犯環境の整備
- ② 災害に強いまちづくりの推進

#### 重点的な取組4-2 交通面の安全性を確保する

【方向性】

- ① 歩行者・自転車利用者の安全性の確保

#### 重点的な取組4-3 救急時の医療体制を充実する

【方向性】

- ① 救急医療体制の充実

### 目標5 まちなかの豊かな自然環境を保全・活用したまちづくり

#### 重点的な取組5-1 まちなかにある豊かな自然環境（河川・緑地）を残す

【方向性】

- ① 緑地・水辺環境の保全・整備
- ② 市街地内の緑化推進

## 3 取組内容

### 目標1 越谷の顔として魅力と活力のあるまちづくり

#### 重点的な取組1-1 活気のある商店街をつくる

越谷駅周辺及び日光道中沿いの商店街の活性化に向けて、多世代が参加できるイベントの実施等を積極的に行います。また、ゴミを散乱させないためのルールづくりやゴミ拾い活動の実施等によりゴミのない環境を作るなど、越ヶ谷地区の商店街ならではの特色・イメージづくりに努めます。

方向性	具体的な内容
① 越谷駅周辺及び日光道中沿いの商店街の活性化	«地域でできること» ● 多世代が参加可能なイベントの開催 ● 商店街専用のスピーカーの設置 ● 日光道中沿い商店街の観光地としての魅力づくり «市への期待» ○ 商店街利用者への駐車場・駐輪場の確保 ○ 商店街利用者への駐車場の無料化
② ゴミのない環境づくり	«地域でできること» ● ゴミを散乱させないためのルールづくり ● ゴミ拾い活動の実施

#### 重点的な取組1-2 魅力ある越谷駅前をつくる

再開発により整備された駅前において、店舗誘致活動や駅へのアクセス性向上のための整備を行うとともに、多様なイベント等の実施により、賑わいと魅力のある駅前環境整備を行います。

方向性	具体的な内容
① 活力と賑わいのある越谷駅前環境の整備	«地域でできること» ● 住民主体による越谷駅西口の賑わいづくり ● 多世代が参加可能なイベントの開催 «市への期待» ○ ツインシティへの店舗誘致活動 ○ 都市計画道路越谷市役所通り線の整備促進

## 目標 2 伝統ある歴史・文化をまちの魅力に繋げるまちづくり

### 重点的な取組 2-1 越ヶ谷秋まつりを盛り上げる

越ヶ谷秋まつりは、本地区の伝統的な行事として後世に引き継いでいくことが求められます。地域の住民や商店街関係者が一体となり、継続的に実施できるよう、地区の住民を巻き込んだ取組とすることを目指します。

方向性	具体的な内容
① まつりやイベント、行事の活性化	«地域でできること» ● 地区全体での実行委員会の立ち上げ ● 継続的なまつりの実施 (毎年度の定期的な開催の実現) «市への期待» ○ まつり開催時における、関係機関との連携

### 重点的な取組 2-2 歴史資源の活用により越ヶ谷地区ならではの魅力をつくる

本地区には久伊豆神社や日光道中沿いのまち並みなど、伝統ある歴史資源があります。こうした歴史資源の積極的な活用により、越ヶ谷地区ならではの魅力づくりを目指します。

方向性	具体的な内容
① 歴史資源の有効活用	«地域でできること» ● ボランティアによる観光案内の実施 ● 歴史資源を活用したイベントの開催 ● 歴史資源を歩いて回る仕組みづくりの検討 «市への期待» ○ 歴史資源等の案内板設置

## 目標 3 子どもから高齢者まで、多世代が交流するコミュニティづくり

### 重点的な取組 3-1 住民同士のつながりを深める

近年地区内ではマンションなどが増えています。地域コミュニティの希薄化が課題となっており、自治会の加入者も減少しています。

地域コミュニティの核となる自治会継続に向けた活動を充実させるとともに、マンション管理組合や PTA など他のコミュニティ組織と自治会の連携により、多世代が交流できる環境づくりを目指します。

方向性	具体的な内容
① 持続可能な自治会の運営	«地域でできること» ● 自治会に継続的に加入するための仕組みづくり ● 自治会を継続していくための活動の見直し ● 新規住民の自治会加入促進 «市への期待» ○ 自治会加入促進に向けた支援
② コミュニティ組織間の連携	«地域でできること» ● マンション管理組合や PTA などの他のコミュニティ組織と自治会の連携 ● コミュニティ組織への若い世代の加入促進 «市への期待» ○ 多世代が集うことができる広場等の設置

### 重点的な取組 3-2 地域で支え合う環境をつくる

全国的に高齢化が進む中、本地区においても高齢者が増加しています。高齢を迎えても心身ともに健やかに暮らせる環境づくりを目指します。また、少子化も問題視される中で、子ども会の加入率も低下しています。自治会や学校が連携し、呼びかけを行うことで、子育て環境の充実を目指し、子どもから高齢者まで地域で支え合う環境づくりに取り組みます。

方向性	具体的な内容
① 高齢者の暮らしの充実	«地域でできること» ● 地域での助け合いによる送迎 ● 高齢者用のサロン開催 «市への期待» ○ 一人暮らしの高齢者を見守る体制づくり ○ 公共施設等でのバリアフリー化の推進
② 子育て環境の整備・充実	«地域でできること» ● 子ども会活動への積極的な参加 ● 自治会から子ども会加入の呼びかけの実施 «市への期待» ○ 学校で子ども会を P R する機会の設定

目標4 誰もが安全・安心に暮らすことができる環境づくり

重点的な取組4-1 防災・防犯面の安全性を確保する

誰もが安全・安心に暮らしていくためには、防災・防犯面の安全性の確保が求められます。防犯カメラの設置や街路灯の設置などの防犯環境の整備を行うとともに、災害が起きた時に速やかに避難できるよう、防災マップづくりや危険箇所のチェック、自主防災活動を積極的に行い、地区内の安全性の向上を目指します。

方向性	具体的な内容
① 防犯環境の整備	«地域でできること» ● 夜間パトロールの実施 ● 街路灯の設置・管理（商店会・自治会） ● 防犯カメラの設置 «市への期待» ○ 街路灯や防犯カメラ設置への支援 ○ 警察による見回り実施への働きかけ
② 災害に強いまちづくりの推進	«地域でできること» ● 住民目線での災害危険箇所のチェック ● 住民目線での防災マップづくり ● 自治会単位での自主防災活動 «市への期待» ○ 自主防災活動を支援するための体制・ルールづくり ○ 住民による消火活動が行いやすい環境整備（初期消火のため、消火栓を設置するなど） ○ 防災イベントの開催 ○ 防災組織形成への支援 ○ 単独館としての越ヶ谷地区センター・公民館の整備 ○ 避難場所の確保

重点的な取組4-2 交通面の安全性を確保する

歩行の邪魔になる植え込みの撤去や落ち葉対策を行うことで、歩行者や自転車利用者の安全性の確保を目指します。

方向性	具体的な内容
① 歩行者・自転車利用者の安全性の確保	«地域でできること» ● 通学路の見守り活動 «市への期待» ○ 街路樹の樹種の変更（落ち葉対策） ○ 歩行の妨げとなる植え込みの撤去 ○ 安全な通学路の確保

重点的な取組4-3 救急時の医療体制を充実する

救急時における救急医療の受け入れを強化することで、災害時の医療体制の充実を目指します。

方向性	具体的な内容
① 救急医療体制の充実	«市への期待» ○ 医療機関における救急患者の受け入れ態勢の強化

目標5 まちなかの豊かな自然環境を保全・活用したまちづくり

重点的な取組5-1 まちなかにある豊かな自然環境（河川・緑地）を残す

本地区には元荒川や久伊豆神社などの豊かな自然環境が存在しています。このような豊かな自然環境を活かすとともに、市街地内の緑の創出に向けた取組を行い、緑あふれるまちを目指します。

方向性	具体的な内容
① 緑地・水辺環境の保全・整備	«地域でできること» ● 東越谷5丁目のあじさいを活かしたあじさい通りの形成（花いっぱい活動） ● 季節ごとの花植え活動（花いっぱい活動） ● 花いっぱい散策路コースをつくる（花いっぱい活動） ● 河川敷の清掃活動 «市への期待» ○ 花いっぱい活動への助成 ○ 花壇の管理
② 市街地内の緑化推進	«地域でできること» ● 緑化活動の実施 ● 宅地内緑地の適正管理に係るルールづくり «市への期待» ○ 宅地内緑地の適正管理に係るルールづくりの支援



南越谷地区  
まちづくり会議提言書

令和元年（2019年）11月18日

南越谷地区まちづくり会議

## 目 次

### ～提言にあたって～

南越谷地区まちづくり会議では、令和元年7月に第1回の会議を開催し、5回にわたり将来のまちづくりに関する議論を重ねてまいりました。

市の南部に位置する南越谷地区は、東武スカイツリーラインとJR武蔵野線が交差する交通利便性の良さを背景に、都市基盤も整備され、日常生活における利便性も高く、恵まれた生活環境を持つ地域です。

今回、将来のまちづくりの検討は、私たちの身の回りの課題を洗い出すことから始まりました。南越谷地区においても地域コミュニティの希薄化や高齢化への対応が課題として挙げられていましたが、特に今後の10年間では、現在、地域活動に関わっている皆さんの高齢化が更に進んでいることも避けられない事実であり、課題に対して「持続的に地域で取り組んでいくためには」の視点が重要になっていきます。

また、次代を担う世代を地域に取り込んでいくために、世代間交流という言葉も、これからの南越谷地区のまちづくりを考えていく上で、キーワードになるものと感じています。

この提言書は、南越谷地区まちづくり会議の委員33人によって、地域のみなさんが地域との関わりを通して、生きがいを持って、安全で安心に過ごせるような南越谷地区をつくるため、様々な議論を重ねてきた結果であります。

最後に、この提言書が、第5次越谷市総合振興計画・越谷市都市計画マスタープランを策定する上での貴重な資料となり、10年後、この地域の住民が子どもから高齢者まで笑顔であふれているように、こんな願いを込めて、提言にあたってのあいさつとさせていただきます。

南越谷地区まちづくり会議  
会長 白 井 俊 市

1. 南越谷地区の将来像 .....	1
2. 現状と課題 .....	1
3. まちづくりの目標 .....	2
4. まちづくりの体系 .....	2
5. 提言内容 .....	3
目標1 すべての世代がいつまでも続いていける仲間づくり .....	3
目標2 にぎわいと健康・学習のまちづくり .....	6
目標3 環境豊かな安全・安心のまちづくり .....	10
参考：市のまちづくりへの提言 .....	15
南越谷地区まちづくり会議委員名簿.....	16

## 第5次越谷市総合振興計画の南越谷地区の将来像とまちづくりの目標

### 1. 南越谷地区の将来像

みんなで 住みよいまちづくり 南越谷

### 2. 現状と課題

#### 【現状】

越谷市の中心的な市街地の一つであり、交通の要衝でもある本地区は、鉄道駅を中心として、充実した道路網や公共交通網を有し、子どもから高齢者まで、多くの住民が暮らし、行き交う、にぎわいある市街地が形成されています。

公園や公共施設も充実しており、住民の健康や学習、安全・安心を支えるための多様なコミュニティ活動が盛んに展開されています。

グリーンベルトや出羽掘などの地域資源も有しており、住民による花いっぱい活動などによって、潤いある水と緑の環境が形成されています。

#### 【課題】

子どもから高齢者まで、幅広い年代が暮らす本地区では、世代間の意識の相違によるコミュニティの希薄化、住民の高齢化への対応、誰もが移動しやすい環境づくりが課題となっており、多世代を巻き込んだまちづくりの展開が求められています。

また、鉄道駅をはじめ、公園や公共施設などの充実した都市機能や、良好な水と緑資源を有する強みを活かし、地区のにぎわい創出や利便性の向上を図りながら、現状の市街地環境の適正管理や改善にも取り組みながら、住民や来訪者まで、誰にとっても安全・安心なまちづくりを進めていく必要があります。

キーワード	魅力	課題
コミュニティ 多世代交流	◇ 子どもから高齢者まで多くの住民が暮らす市街地が形成 ◇ コミュニティ団体が多く活動が盛ん	◆ コミュニティが希薄化 ◆ 活動メンバーが高齢化
にぎわい 健康・学習	◇ 市内外から多くの住民が集う「にぎわい」の中心地 ◇ 公園や公共施設が充実	◆ 駅周辺環境改善 ◆ 高齢者の生きがいづくり
環境 安全・安心	◇ 鉄道駅を中心に充実した道路網や公共交通網 ◇ 花や緑を感じる環境形成	◆ 交通危険箇所の把握 ◆ 防災・減災意識の向上

### 3. まちづくりの目標

目標 1	すべての世代がいつまでも続いていける仲間づくり
目標 2	にぎわいと健康・学習のまちづくり
目標 3	環境豊かな 安全・安心のまちづくり

### 4. まちづくりの体系

#### 目標 1 すべての世代がいつまでも続いていける仲間づくり

- 取組の方向性 1-I すべての世代を巻き込めるコミュニティづくり
- 取組の方向性 1-II いつまでも続いていけるコミュニティ活動
- 取組の方向性 1-III 高齢者が暮らしやすい仲間づくり

#### 目標 2 にぎわいと健康・学習のまちづくり

- 取組の方向性 2-I にぎわいを生み出す仕掛けづくり
- 取組の方向性 2-II 誰もが健康で暮らせる環境づくり
- 取組の方向性 2-III 高齢者が生きがいをもって暮らせる環境づくり

#### 目標 3 環境豊かな 安全・安心のまちづくり

- 取組の方向性 3-I 誰もが快適に利用できる交通ネットワークづくり
- 取組の方向性 3-II 災害に強いまちづくり
- 取組の方向性 3-III 安全・安心の防犯まちづくり
- 取組の方向性 3-IV 水と緑を活かした美しいまちづくり

## 5. 提言内容

### 目標 1 すべての世代がいつまでも続いていける仲間づくり

#### 【目標 1 の現状】

本地区は、越谷市の中心的な市街地の一つとして、子どもから高齢者まで、多くの住民が暮らす市街地が形成されています。  
住民生活をより豊かなものにするため、多くのコミュニティ団体が設立されており、地区センターを中心として、様々な活動が盛んに展開されています。

#### 【目標 1 の課題】

近年では、コミュニティに対する世代間の価値観や考え方の違いなどにより、自治会への加入の低下など、コミュニティの繋がりが希薄化しています。  
また、これまで地区のコミュニティ活動を支えてきたメンバーの高齢化も進んでおり、これからも継続的な活動を支えていくためにも、活動内容の見直しや多世代を巻き込んだ展開が求められています。

### 目標 1 すべての世代がいつまでも続いていける仲間づくり

#### 取組の方向性 1 - I すべての世代を巻き込めるコミュニティづくり

- 【取組みの提言】
- ① 誰もが参加しやすい環境づくり
  - ② ふれあい豊かな情報の共有
  - ③ 町中にあいさつの輪を広げる

#### 取組の方向性 1 - II いつまでも続いていけるコミュニティ活動

- 【取組みの提言】
- ① 楽しめるコミュニティづくり
  - ② 団体同士のつながりを強くする

#### 取組の方向性 1 - III 高齢者が暮らしやすい仲間づくり

- 【取組みの提言】
- ① 高齢世帯の見守り
  - ② 高齢者が気兼ねなく楽しく交流できる機会をつくる

#### 取組の方向性 1 - I すべての世代を巻き込めるコミュニティづくり

本地区のコミュニティ活動を更に盛り上げていくために、若者世代や新しい住民が参加しやすい環境づくりに取り組みます。

また、地区のコミュニティ活動についての PR 活動や、交流イベント等の実施によるコミュニケーションの強化を図り、子ども世代から親世代、高齢者世代まで、多世代を巻き込んだコミュニティづくりを目指します。

取組の提言	内容
① 誰もが参加しやすい環境づくり	● 子どもから高齢者まで、すべての世代の参加によるコミュニティ活動の展開を目指し、誰もが参加しやすい環境づくりに取り組みます。
② ふれあい豊かな情報の共有	● すべての世代に地区の的確な情報が行き渡るように、コミュニティ活動の積極的な発信に取り組みます。
③ 町中にあいさつの輪を広げる	● あいさつが飛び交う明るいコミュニティづくりを目指し、住民同士のコミュニケーションの強化に取り組みます。



南越谷地区センター・公民館



南越谷地区フェスティバル



地区まちづくり会議



南越谷地区フェスティバル



取組の方向性 1 - II いつまでも続いていけるコミュニティ活動	
<p>本地区は地区のコミュニティ活動が非常に盛んに行われていることから、引き続き、コミュニティ活動の活性化に取り組むとともに、地区内の団体同士の連携強化を図ります。</p> <p>また、将来にわたって南越谷地区でコミュニティ活動を続けていけるように、活動内容の見直しにも取り組みます。</p>	
取組の提言	内容
① 楽しめるコミュニティづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本地区の誇りでもある多様なコミュニティ活動を、将来にわたって継続・発展させていくために、誰もが参加しやすいコミュニティ活動の見直しに取り組みます。</li> </ul>
② 団体同士のつながりを強くする	<ul style="list-style-type: none"> <li>● コミュニティ活動の維持・継続と更なる充実に向けて、地区内の各団体や市関係部署との連携強化に取り組みます。</li> </ul>



南越谷地区成人式



4 団体地区懇談会  
(自治連・公運協・スポレク・コミ協)

取組の方向性 1 - III 高齢者が暮らしやすい仲間づくり	
<p>本地区は、今後住民の高齢化が見込まれることから、地区内の高齢者世帯を把握し、必要な支援に取り組むとともに、高齢者が日常的に集まることができる交流の場の確保など、高齢者が暮らしやすいまちづくりを目指します。</p>	
取組の提言	内容
① 高齢世帯の見守り	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 住民の高齢化が進む中で、高齢者が安全・安心に日常生活を送ることができるように、地区内の高齢世帯の見守り活動に取り組みます。</li> </ul>
② 高齢者が気兼ねなく楽しく交流できる機会をつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高齢者がコミュニティ活動に積極的に参加できるように、声かけなど多様な交流の機会の創出に取り組みます。</li> </ul>

## 目標 2 にぎわいと健康・学習のまちづくり

### 【目標 2 の現状】

本地区は、市の玄関口でもある東武スカイツリーライン新越谷駅・JR 武蔵野線南越谷駅の交通利便性の良さを背景に、市内外から多くの人々が集うにぎわいの中心地としての役割も果たしています。

また、子どもから高齢者まで、多くの住民が生活する地区内には、公園や公共施設も充実しており、住民の健康と学習を支えています。

### 【目標 2 の課題】

地区の更なるにぎわい創出や利便性向上に向けて、駅周辺の環境改善や各種イベント等の充実が求められています。

また、公園や公共施設が充実している一方で、それらが十分に活用できていないという課題もあります。

さらには、住民の高齢化を見据え、高齢者が生きがいを持って生活できるコミュニティづくりを進めていく必要があります。

## 目標 2 にぎわいと健康・学習のまちづくり

### 取組の方向性 2 - I にぎわいを生み出す仕掛けづくり

- 【取組みの提言】
- ① 新越谷駅西口の再整備の促進
  - ② イベントの充実
  - ③ 情報発信の強化
  - ④ 誰もが気持ちよく利用できる駅周辺の環境づくり

### 取組の方向性 2 - II 誰もが健康で暮らせる環境づくり

- 【取組みの提言】
- ① 遊べる場・スポーツの場の確保
  - ② 学習・文化活動の充実

### 取組の方向性 2 - III 高齢者が生きがいをもって暮らせる環境づくり

- 【取組みの提言】
- ① 学習・文化活動等を通じた世代間交流の促進
  - ② 高齢者が楽しめるイベント等の充実
  - ③ 地域包括支援の充実

取組の方向性 2-I にぎわいを生み出す仕掛けづくり	
<p>鉄道駅が整備され、市の玄関口の1つでもある本地区は、多くの人が集う、利便性の高いまちづくりが進められています。</p> <p>住民の生活利便性の更なる向上に向けて、新越谷駅西口の再整備を促進するとともに、住民や来訪者との交流の場となるイベント等を開催し、にぎわいのある魅力的なまちづくりに取り組みます。</p>	
取組の提言	内容
① 新越谷駅西口の再整備の促進	● 本地区の玄関口となる新越谷駅西口の再整備に向けて、住民の立場から積極的な働きかけに取り組みます。
② イベントの充実	● にぎわいの創出やコミュニティの繋がりの強化に向けて、多世代が参加できる多様なイベントの企画・開催に取り組みます。
③ 情報発信の強化	● 更なるにぎわいづくりに向けて、本地区が実施しているコミュニティ活動やイベントなどを、地区の内外に広く周知できるよう、情報発信の強化に取り組みます。
④ 誰もが気持ちよく利用できる駅周辺の環境づくり	● 多くの人々が行き交う駅周辺エリアは、本地区の玄関口でもあることから、関係機関との連携を図りながら、誰もが気持ちよく利用できる環境づくりに取り組みます。



新越谷駅西口ロータリー



南越谷地区フェスティバル



コミ協広報誌「コミュニティ南越谷」



南越谷地区ホームページ  
(越谷市ホームページ内)

取組の方向性 2-II 誰もが健康で暮らせる環境づくり	
<p>多くの市民が居住する本地区においては、子どもから高齢者まで、誰もが健康でいきいきと生活できる環境づくりが求められます。</p> <p>地区の将来を支える子どもたちが身近に遊び、スポーツをすることができる場所の確保や学習・文化活動の充実等、誰もが心身ともに健康に暮らせる環境づくりに取り組みます。</p>	
取組の提言	内容
① 遊べる場・スポーツの場の確保	● 子どもから高齢者まで、誰もが健康的な生活を送ることができるように、気軽に遊び、スポーツすることができる場の確保に向けて、既存施設の適正管理やルールづくりに取り組みます。
② 学習・文化活動の充実	● 誰もが地域の中で生きがいをもって暮らすことができるように、各種学習教室の開催やレクリエーション活動など、様々な学習・文化活動に取り組みます。



南越谷地区体育祭



スポ・レク事業「カヌー教室」



公民館主催事業「うたごえバレット」



公民館主催事業「大人の太鼓」



取組の方向性 2-Ⅲ 高齢者が生きがいをもって暮らせる環境づくり	
<p>今後、高齢者の増加が見込まれる中、高齢者が住み慣れた地域で元気で自立した生活を送るためには、生きがいをもって地域で活動することが重要です。</p> <p>高齢者と地区の将来を支える子どもたち等との世代間交流や、高齢者を対象としたイベント等の充実により、高齢者が生きがいをもって生活できる環境づくりに取り組めます。</p>	
取組の提言	内容
① 学習・文化活動等を通じた世代間交流の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高齢者を中心として、子どもたちの健やかな成長をコミュニティ全体で見守っていただけるように、学習指導や文化活動などによる世代間交流の場づくりに取り組めます。</li> </ul>
② 高齢者が楽しめるイベント等の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高齢者が生きがいをもって健康に暮らすことができるように、高齢者を対象とした様々なイベントの企画・開催に取り組めます。</li> </ul>
③ 地域包括支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地区の高齢化が進む中で、高齢者がこれからも安全・安心に暮らしていくことができるように、継続的に地域全体で見守る体制の強化に取り組めます。</li> </ul>



コミ協事業「ふれあいにこここバスの旅」  
(高齢者イベント)



コミ協事業「世代間交流事業」



地域包括ネットワーク会議



公民館主催事業「万年青大学」

### 目標 3 環境豊かな 安全・安心のまちづくり

#### 【目標3の現状】

市の交通の要衝でもある本地区は、鉄道駅を中心として、充実した道路網や公共交通網が形成されています。

また、住民の安全・安心を守るため、防災・防犯に向けた様々な取組が積極的に展開されています。

地区内にはグリーンベルトや出羽掘などの地域資源をはじめ、住民の花いっぱい活動などによって、潤いを感じられる水と緑の環境が形成されています。

#### 【目標3の課題】

子どもや高齢者など、住民の移動を支える公共交通網の維持や、危険箇所の早期対応や歩道の確保など、道路環境の改善が課題となっています。

また、防災・防犯対策を促進し、より安全・安心なまちづくりを行うとともに、本地区が誇る水と緑の環境の適切な管理と更なる活用が求められています。

### 目標 3 環境豊かな 安全・安心のまちづくり

#### 取組の方向性 3-I 誰もが快適に利用できる交通ネットワークづくり

- 【取組みの提言】
- ① 道路環境の充実
  - ② 安全な歩行空間の確保
  - ③ 交通安全対策の充実
  - ④ 公共交通網の維持

#### 取組の方向性 3-II 災害時に強いまちづくり

- 【取組みの提言】
- ① 防災意識の向上
  - ② 災害時・復旧時の体制づくり

#### 取組の方向性 3-III 安全・安心の防犯まちづくり

- 【取組みの提言】
- ① 防犯施設の設置推進
  - ② 子どもの見守り体制の強化
  - ③ 空き家対策の検討
  - ④ マナー啓発活動の推進

#### 取組の方向性 3-IV 水と緑を活かした美しいまちづくり

- 【取組みの提言】
- ① 地域資源の活用による緑化推進
  - ② 緑の適正管理
  - ③ 美化活動の強化
  - ④ 不法投棄への対応

取組の方向性 3-I 誰もが快適に利用できる交通ネットワークづくり	
<p>本地区は、本市の交通の要衝の1つでもあり、多くの自動車やバス等が行き来していることから、引き続き、道路網の適正管理と計画的な整備を促進するとともに、住民や来訪者の安全・安心の確保に向けた交通安全対策の充実に取り組みます。</p> <p>また、子どもから高齢者、障がいを持つ方まで、誰もが安全・安心に移動できるよう、歩行空間の確保に取り組むとともに、自動車を運転できない住民が円滑に目的地まで移動できるよう、路線バスをはじめとする公共交通網の維持に向けた取組みについても検討します。</p>	
取組の提言	内容
① 道路環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 住民の移動を支える道路網の適切な維持・管理・整備に向けて、市との連携を図りながら、市民の立場からできることに積極的に取り組みます。</li> </ul>
② 安全な歩行空間の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 子どもから高齢者、障がいを持つ方まで、誰もが安全・安心に移動できるよう、市との連携を図りながら、安全な歩行空間の確保に積極的に取り組みます。</li> </ul>
③ 交通安全対策の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 交通の要衝として、多くの人と自動車・バス等が行き来する本地区の安全性を確保するため、関係機関との連携を図りながら、交通安全対策の充実に取り組みます。</li> </ul>
④ 公共交通網の維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 子どもや高齢者の移動を支える公共交通網を、将来にわたって維持していけるように、積極的な利用を図りながら、必要に応じて市への要望活動に取り組みます。</li> </ul>



クリーン活動時の道路危険箇所調査



下校時の見守り活動

取組の方向性 3-II 災害時対応の充実	
<p>多くの市民が居住する本地区においては、災害を見据えた防災・減災に向けた取組みの充実が求められます。</p> <p>引き続き、防災訓練等による住民の防災意識の醸成を図りながら、自助・共助・公助の考えの下、多様な主体と連携した災害時及び復旧時の体制構築に取り組みます。</p>	
取組の提言	内容
① 防災・減災意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 激甚化する地震や台風等の自然災害から、生命と財産を守るため、住民同士の連携強化や災害情報の共有を図りながら、日頃からの防災・減災意識の醸成に取り組みます。</li> </ul>
② 災害時・復旧時の体制づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地震や台風などによる災害時や復旧時にも、落ち着いて適切な対応をとれるように、地区の特性を踏まえ、日頃から多様な主体との情報共有や連携を図りながら、避難路や備蓄の確保など、細やかな防災・復旧体制の構築に取り組みます。</li> </ul>



HUG体験研修会



総合防災訓練



総合防災訓練



コミ協事業「防災講演会」



取組の方向性 3-Ⅲ 防犯環境の充実	
<p>鉄道駅周辺を中心に、多くの人々が集う本地区においては、住民の安全・安心の確保に向けた防犯環境の充実が求められます。</p> <p>街灯や防犯カメラなどの設置や子どもの見守り体制の強化、住民や来訪者のマナー啓発活動に取り組むとともに、今後増加が予想される地区内での空き家対策についての検討を進めます。</p>	
取組の提言	内容
① 防犯施設の設置推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>多くの人々が集う本地区の治安の維持・向上に向けて、市や事業者との連携を図りながら、街灯や防犯カメラなどの防犯施設の設置促進に取り組みます。</li> </ul>
② 子どもの見守り体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>地区の宝である子どもたちの安全・安心を、コミュニティ全体で支えるため、子どもたちの見守り活動の更なる充実に向けた体制強化に取り組みます。</li> </ul>
③ 空き家対策の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民の高齢化に伴い、地区内での空き家の増加が見込まれることから、住民同士で空き家に係る情報を共有し、行政とも連携を図りながら、適切な管理・活用の促進に取り組みます。</li> </ul>
④ マナー啓発活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>鉄道駅周辺は、住民以外にも多くの人々が行き来することから、誰もが気持ちよく、安全・安心に過ごすことができるように、利用者のマナー啓発活動に積極的に取り組みます。</li> </ul>



安心安全パトロール



青少年健全育成研修会

取組の方向性 3-Ⅳ 水と緑を活かした美しいまちづくり	
<p>多くの人々が暮らし、訪れる本地区においては、住民や来訪者が身近に緑を感じることができる潤いのあるまちづくりに向けて、地域の資源を活かした緑化の推進を図るとともに、それらの適切な維持・管理に取り組みます。</p> <p>また、住民が誇れる美しいまちづくりに向けて、引き続き、花いっぱい活動や清掃活動などの地区内での美化活動の強化や、近年増加している不法投棄への対応について取り組みます。</p>	
取組の提言	内容
① 地域資源の活用による緑化推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>グリーンベルトや出羽堀などの地域資源を活かした、潤いのある環境づくりに向けて、市との連携を図りながら、住民が主体となった管理・活用に積極的に取り組みます。</li> </ul>
② 緑の適正管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>街路樹や公園、公共施設など、本地区の良好な緑環境を支える身近な緑地の適正管理に取り組みます。</li> </ul>
③ 美化活動の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>多くの人々が暮らし、訪れる本地区の特性を踏まえ、誰もが身近に緑を感じられる環境づくりに向けた美化活動に積極的に取り組みます。</li> </ul>
④ 不法投棄への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>本地区の良好な環境を損ねる不法投棄の撲滅に向けて、関係機関との連携強化を図りながら、防止対策に取り組みます。</li> </ul>



コミ協事業「花いっぱい運動」



出羽堀



コミ協事業「クリーン活動」



グリーンベルト

参考：市のまちづくりへの提言

目標1 すべての世代がいつまでも続いていける仲間づくり

取組の提言	期待する内容
① 地区センターとの連携強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 他団体とのマッチングや情報共有</li> <li>● コミュニティ活動のPRや情報発信</li> </ul>
② 市からの積極的な関与	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 団体間交流（自治会、コミ協、スポレク、公民館協力委員会、老人会、子ども会）への関与・協力</li> </ul>

目標2 にぎわいと健康・学習のまちづくり

取組の提言	期待する内容
① 新越谷駅西口の再整備に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 事業の具体化に向けた積極的な取組の展開</li> <li>● 賑わいの創出や利便性の向上に向けた再開発への検討</li> </ul>
② 地区内イベントの積極的な情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 市ホームページやSNSなどを活用した広報、ポスター配布</li> </ul>
③ 公園・公共施設の適正管理と活用、確保に向けた取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 遊具や緑地などの適正管理</li> <li>● スポーツ施設の更なる充実</li> <li>● 住民が公園や公共施設を安全・安心に利用できる環境づくり</li> </ul>
④ 高齢者支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域包括支援センターをはじめ関係機関・団体との連携</li> </ul>
⑤ 多様な意見交換の場づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 課題共有・解決に向けた意見交換のための場づくり</li> </ul>

目標3 環境豊かな安全・安心のまちづくり

取組の提言	期待する内容
① 計画的な道路整備・管理の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 道路整備の円滑な遂行</li> <li>● 既存の道路や歩道環境、街路樹等の適正管理</li> </ul>
② 交通安全・防犯対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 信号機や横断歩道、ガードレール、街灯の設置、スクールゾーンの指定</li> <li>● 交通安全や防犯対策の強化</li> </ul>
③ 公共交通網の維持に向けた取組促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 公共交通網を将来にわたって利用することができる環境づくり</li> </ul>
④ 防災・減災に向けた環境整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 住民への適切な情報提供や避難指示の伝達</li> <li>● 避難場所の整備及び備蓄等の機能強化</li> <li>● 排水施設等の改善</li> <li>● 自治会への要支援者等の情報提供</li> <li>● 住民が取り組む防災・減災に対する補助・支援の充実</li> <li>● 早期の復旧に資するハード・ソフト両面の整備強化</li> </ul>
⑤ 空き家等の適正管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「越谷市空き家等対策計画」に基づいた空き家の適正管理、発生の予防・促進、活用・流通の促進</li> <li>● 住民による主体的な空き家・空き地の管理を許容するような枠組みづくり</li> </ul>
⑥ 緑化の推進に向けた支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 住民がこれまで以上に主体的に取り組むことができるような環境整備</li> </ul>
⑦ 担当窓口の整理・明確化	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 行政の担当窓口を整理・明確化</li> <li>● 密接な情報交換</li> </ul>